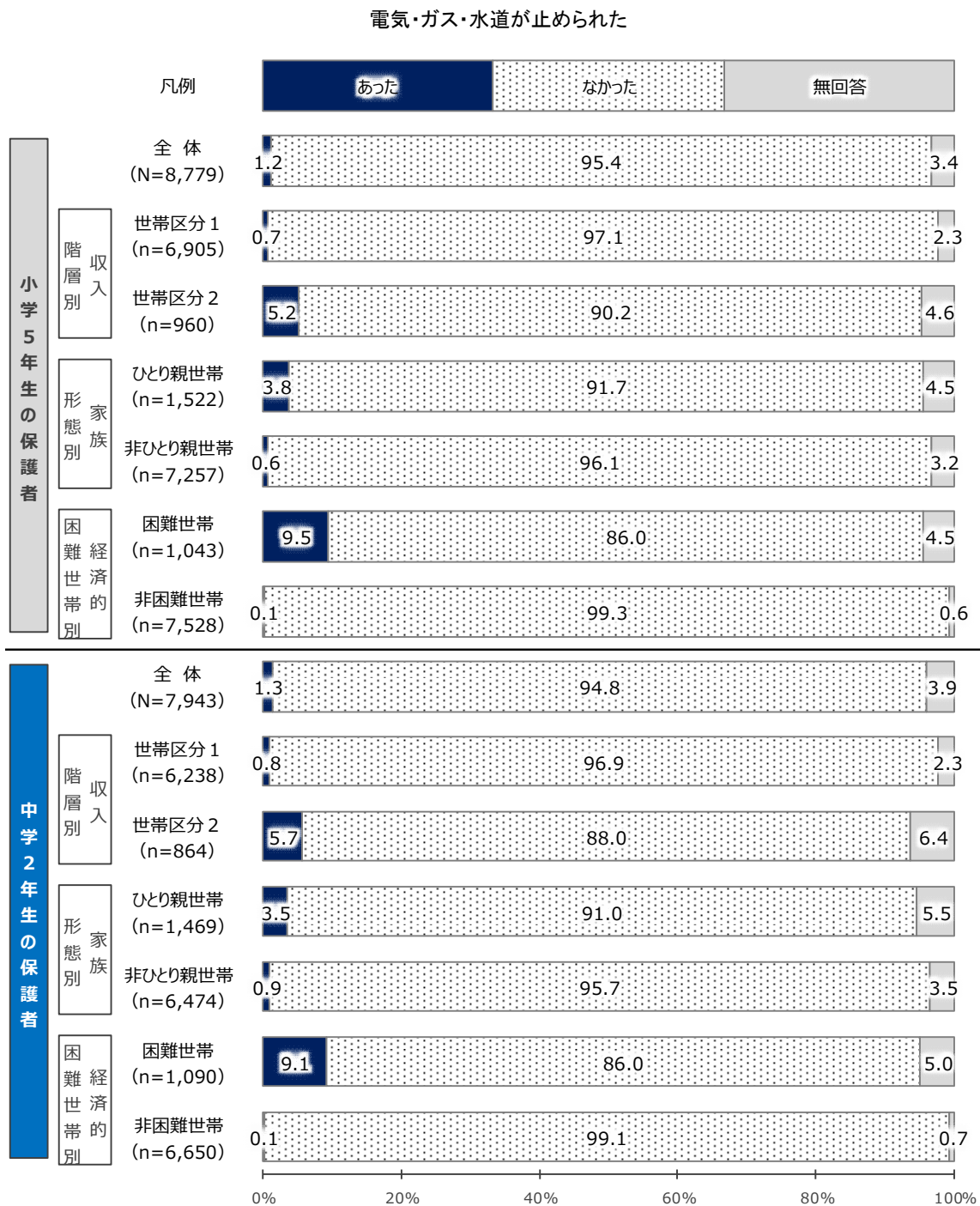


問 16 あなたの世帯では、経済的な理由で、過去1年の間に次のようなことがありましたか。(①～⑬のそれぞれの項目について、あてはまる番号1つに○をつけてください)

①電気・ガス・水道が止められた

過去1年間に電気・ガス・水道が止められた経験は、小学生保護者及び中学生保護者ともに「なかった」が大半を占め、「あった」は1パーセント台となっている。

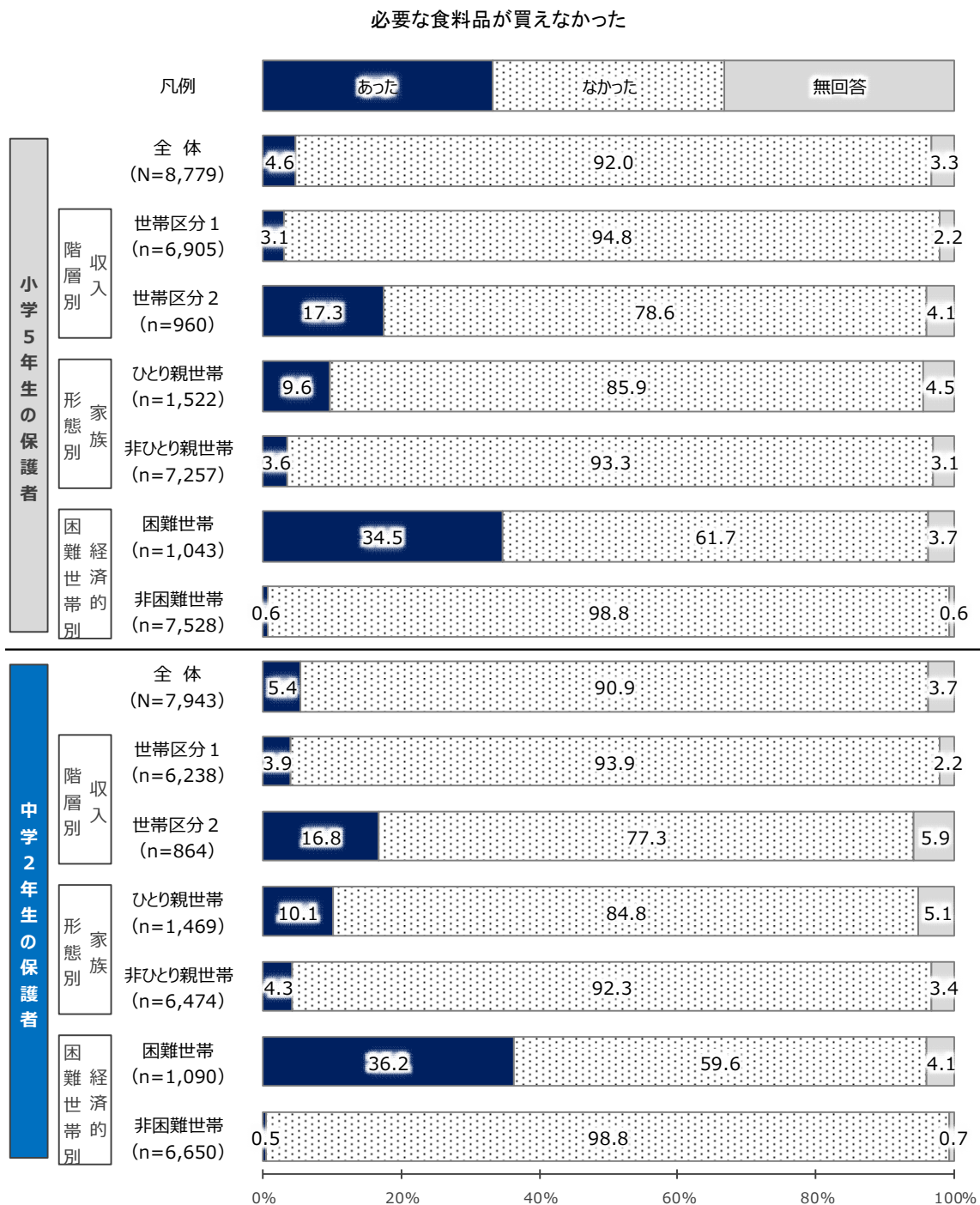
また、小学生保護者及び中学生保護者ともに、困難世帯は「あった」が1割みられる。



②必要な食料品が買えなかった

過去1年間に必要な食料品が買えなかった経験は、小学生保護者及び中学生保護者ともに「なかった」が大半を占め、「あった」は数パーセントとなっている。

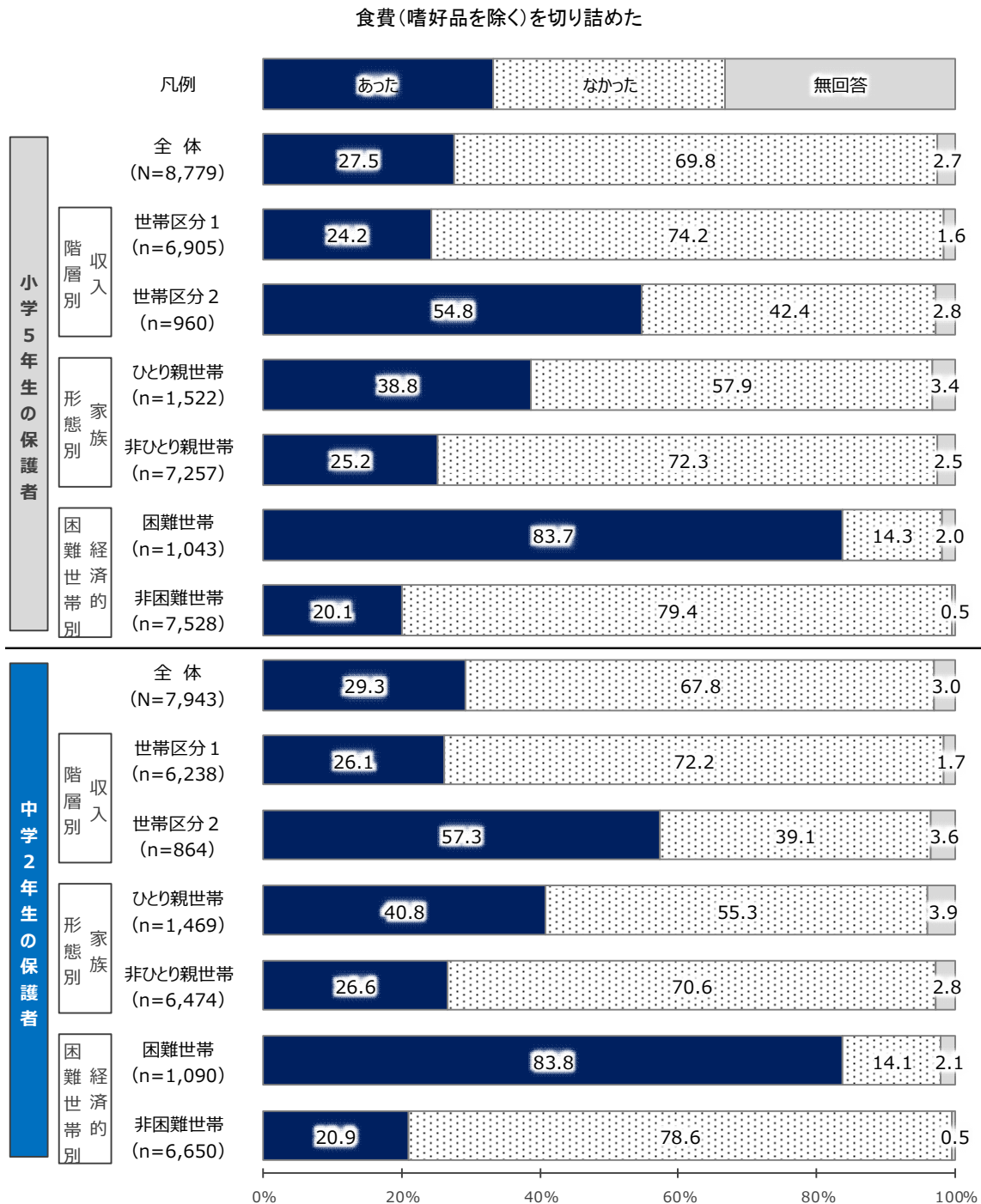
また、小学生保護者及び中学生保護者ともに、困難世帯は「あった」が3割、世帯区分2は「あった」が1割強みられる。



③食費（嗜好品を除く）を切り詰めた

過去1年間に食費を切り詰めた経験は、小学生保護者及び中学生保護者ともに「なかった」が約7割、「あった」が約3割となっている。

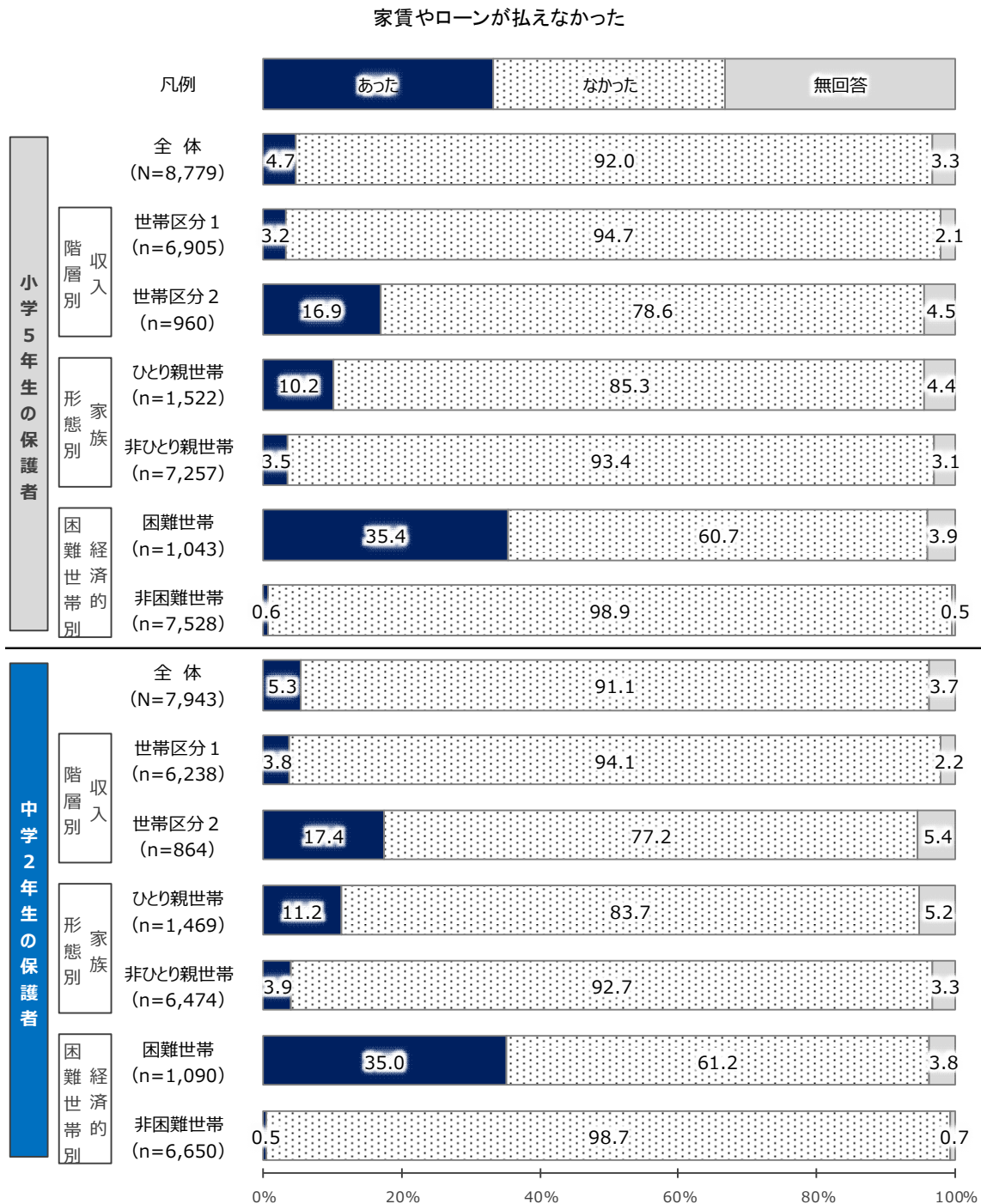
また、小学生保護者及び中学生保護者ともに、困難世帯は「あった」が8割以上、世帯区分2は「あった」が5割強みられる。



#### ④家賃やローンが払えなかった

過去1年間に家賃やローンが払えなかった経験は、小学生保護者及び中学生保護者ともに「なかった」が大半を占め、「あった」は数パーセントとなっている。

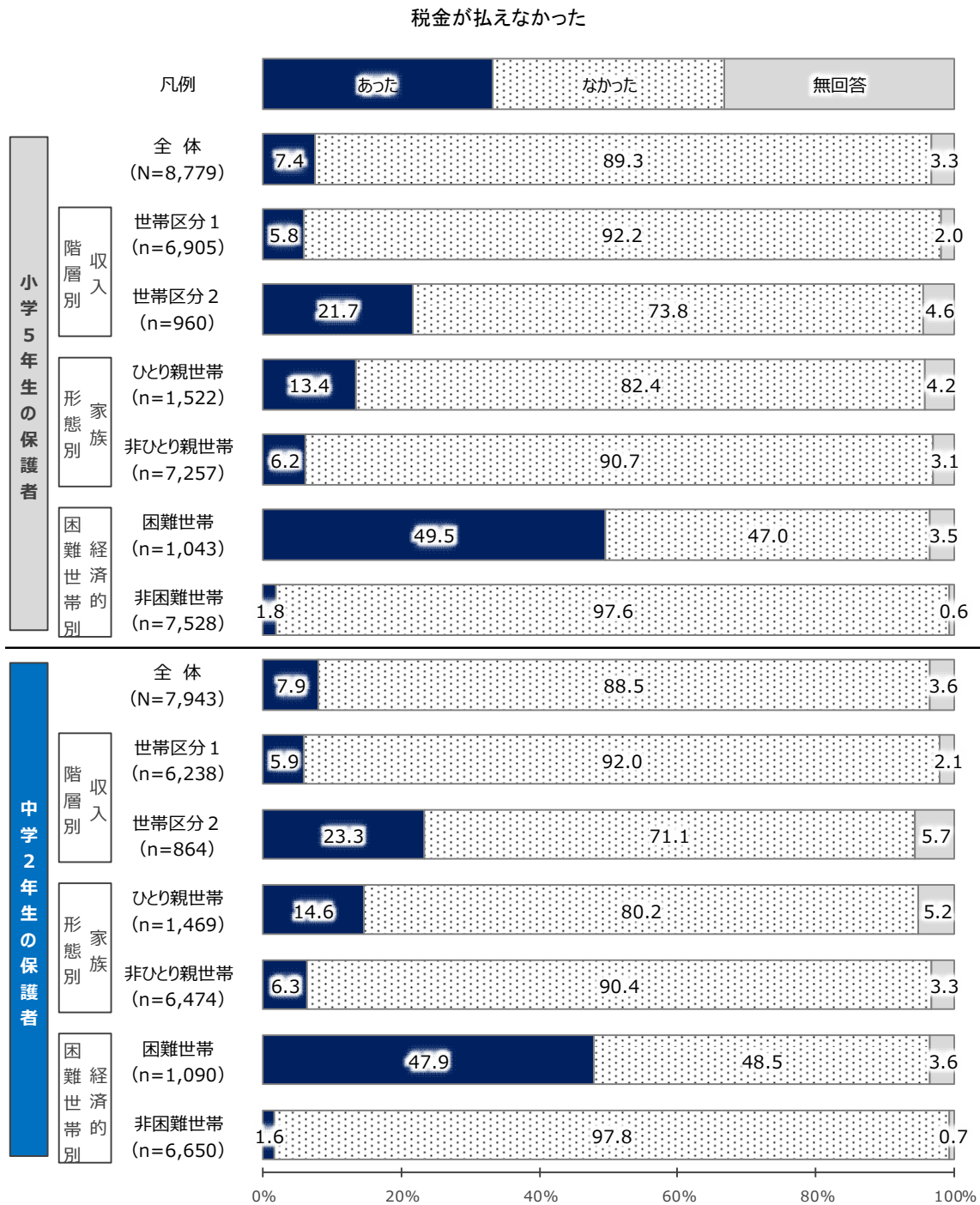
また、小学生保護者及び中学生保護者ともに、困難世帯は「あった」が3割強、世帯区分2は「あった」が1割強みられる。



⑤税金が払えなかった

過去1年間に税金が払えなかった経験は、小学生保護者及び中学生保護者ともに「なかった」が約9割を占め、「あった」は数パーセントとなっている。

また、小学生保護者及び中学生保護者ともに、困難世帯は「あった」が約5割、世帯区分2は「あった」が2割以上みられる。

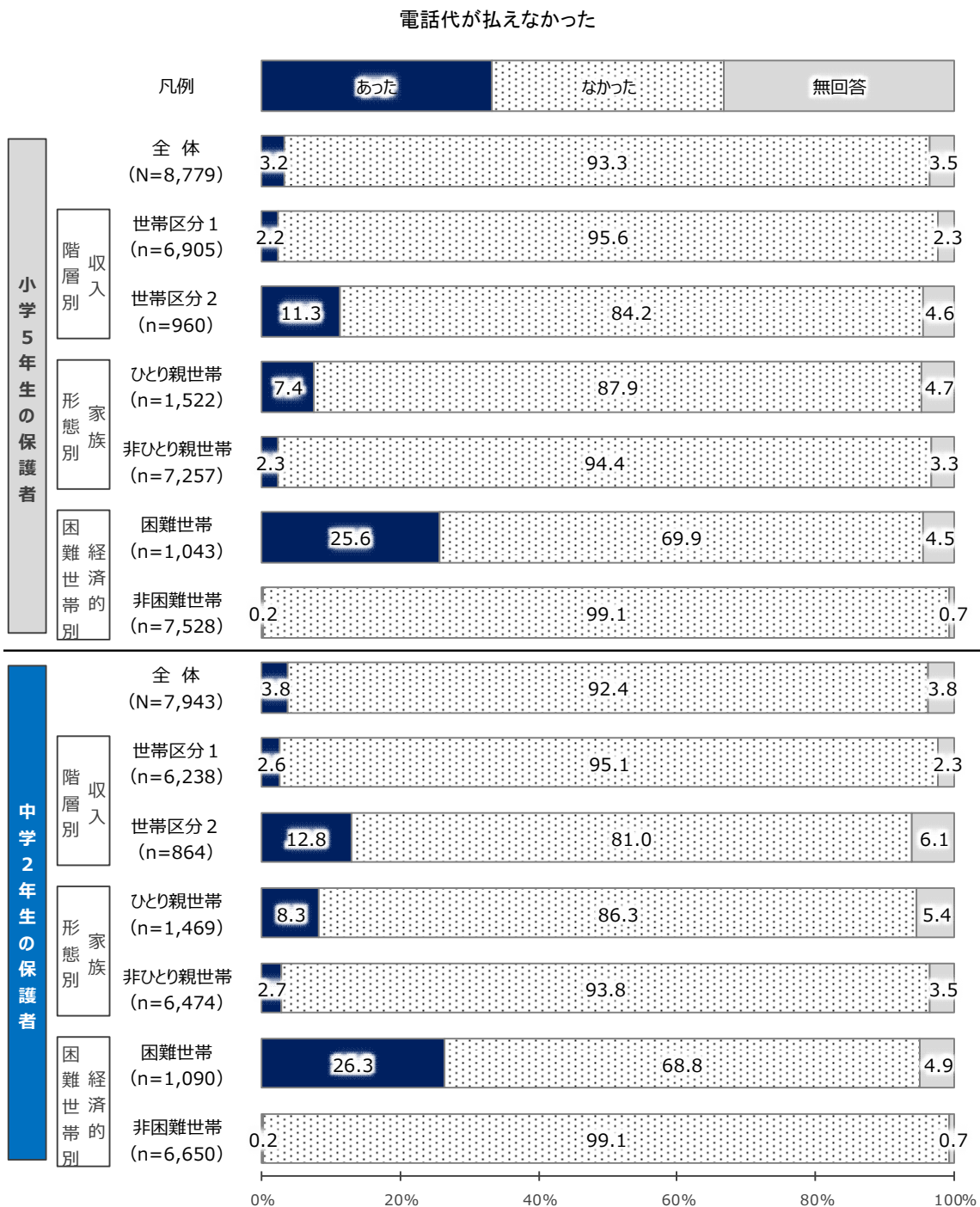




◎電話代が払えなかった

過去1年間に電話代が払えなかった経験は、小学生保護者及び中学生保護者ともに「なかった」が大半を占め、「あった」は数パーセントとなっている。

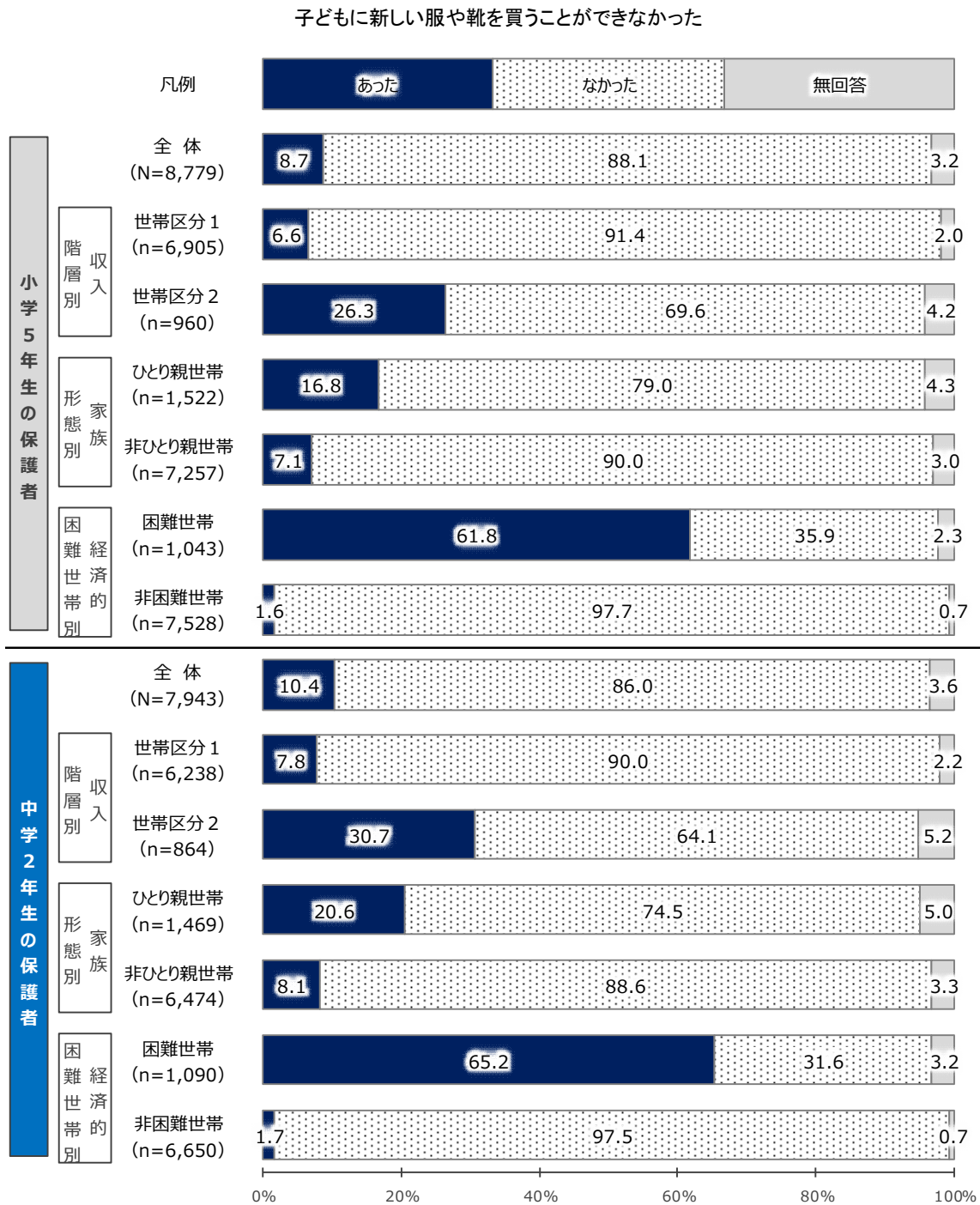
また、小学生保護者及び中学生保護者ともに、困難世帯は「あった」が2割強、世帯区分2は「あった」が1割みられる。



⑦子どもに新しい服や靴を買うことができなかった

過去1年間に子どもに新しい服や靴を買うことができなかった経験は、小学生保護者及び中学生保護者ともに「なかった」が約9割を占め、「あった」は約1割となっている。

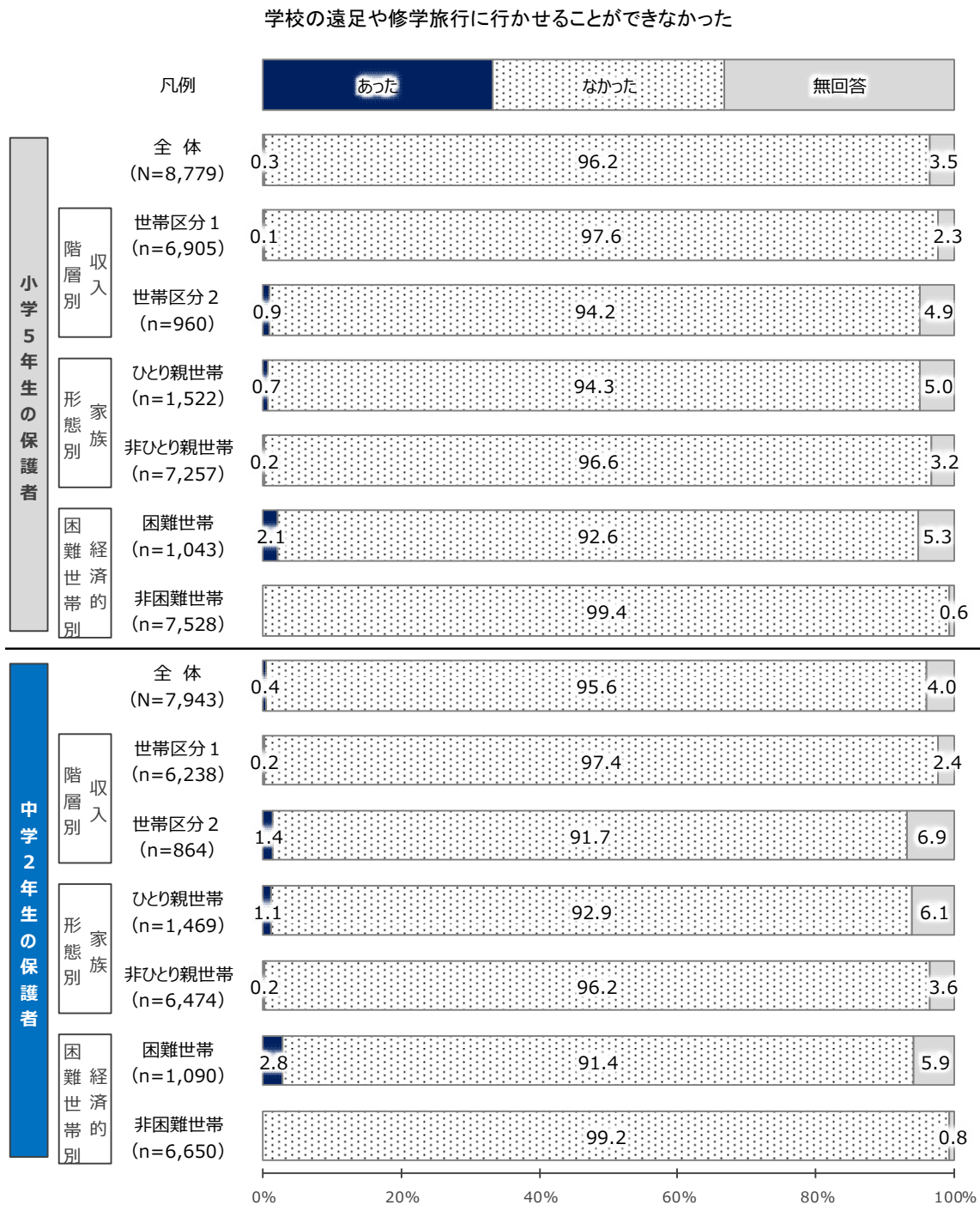
また、小学生保護者及び中学生保護者ともに、困難世帯は「あった」が6割強、世帯区分2は「あった」が2～3割みられる。



⑧学校の遠足や修学旅行に行かせることができなかった

過去1年間に学校の遠足や修学旅行に行かせることができなかった経験は、小学生保護者及び中学生保護者ともに「なかった」が大半を占め、「あった」は1パーセントにも満たない。

また、属性別にみると、大きな特徴はみられない。



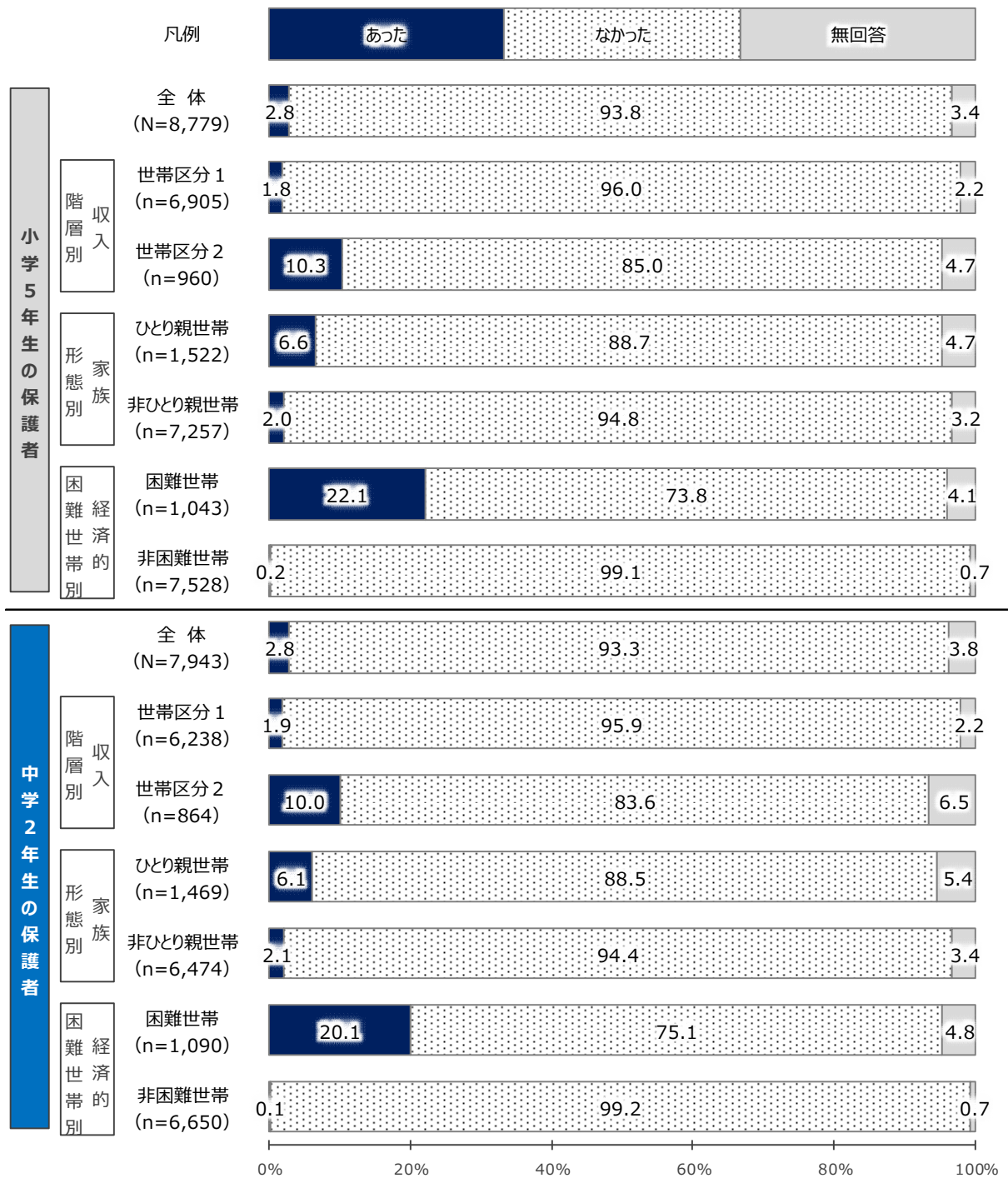


⑨給食費や教材費を学校に払えなかった

過去1年間に給食費や教材費を学校に払えなかった経験は、小学生保護者及び中学生保護者ともに「なかった」が大半を占め、「あった」は数パーセントとなっている。

また、小学生保護者及び中学生保護者ともに、困難世帯は「あった」が2割、世帯区分2は「あった」が1割みられる。

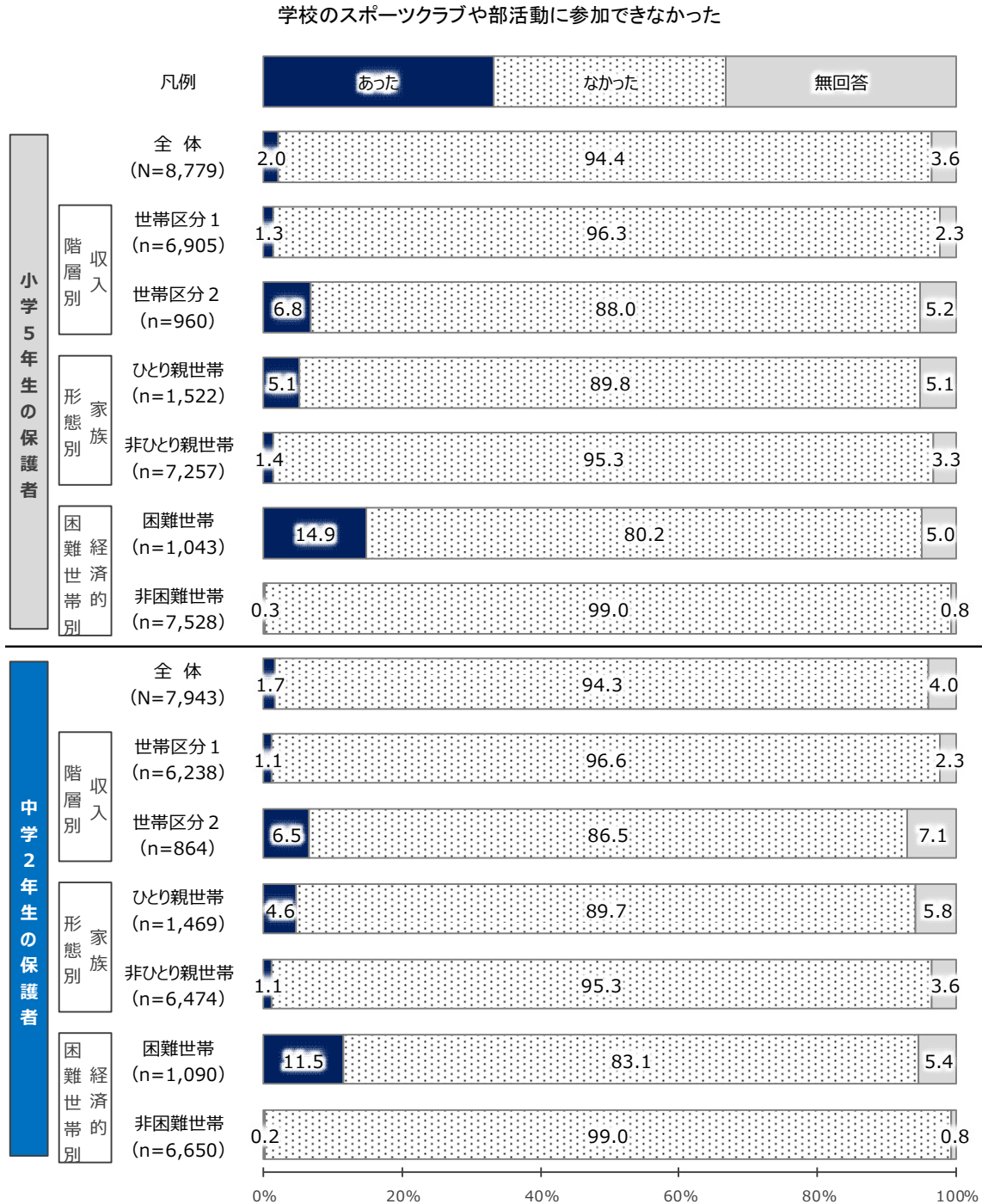
給食費や教材費を学校に払えなかった



⑩学校のスポーツクラブや部活動に参加できなかった

過去1年間に学校のスポーツクラブや部活動に参加できなかった経験は、小学生保護者及び中学生保護者ともに「なかった」が大半を占め、「あった」は数パーセントとなっている。

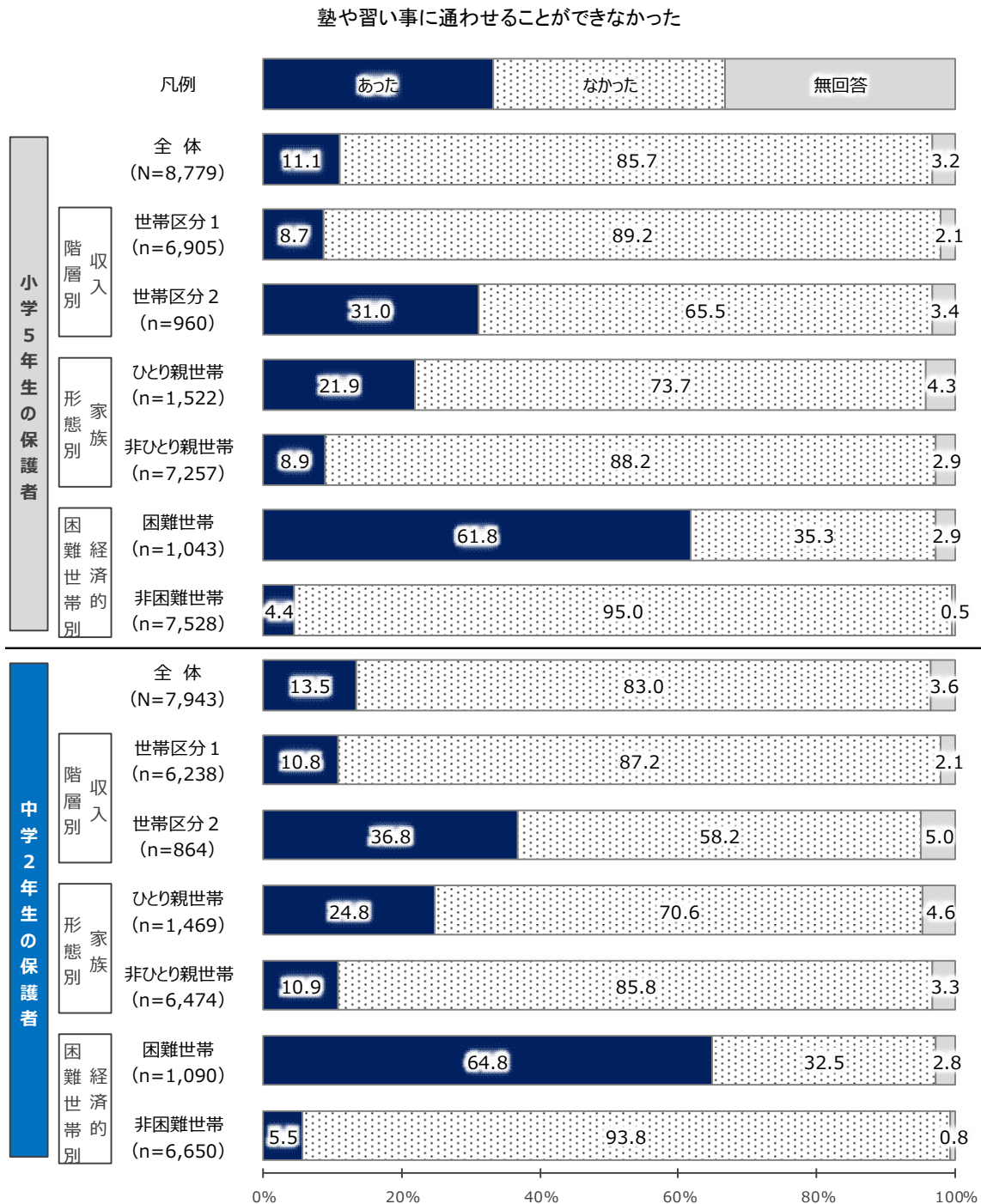
また、小学生保護者及び中学生保護者ともに、困難世帯は「あった」が1割強みられる。



⑪塾や習い事に通わせることができなかった

過去1年間に塾や習い事に通わせることができなかった経験は、小学生保護者及び中学生保護者ともに「なかった」が8割強を占め、「あった」は約1割となっている。

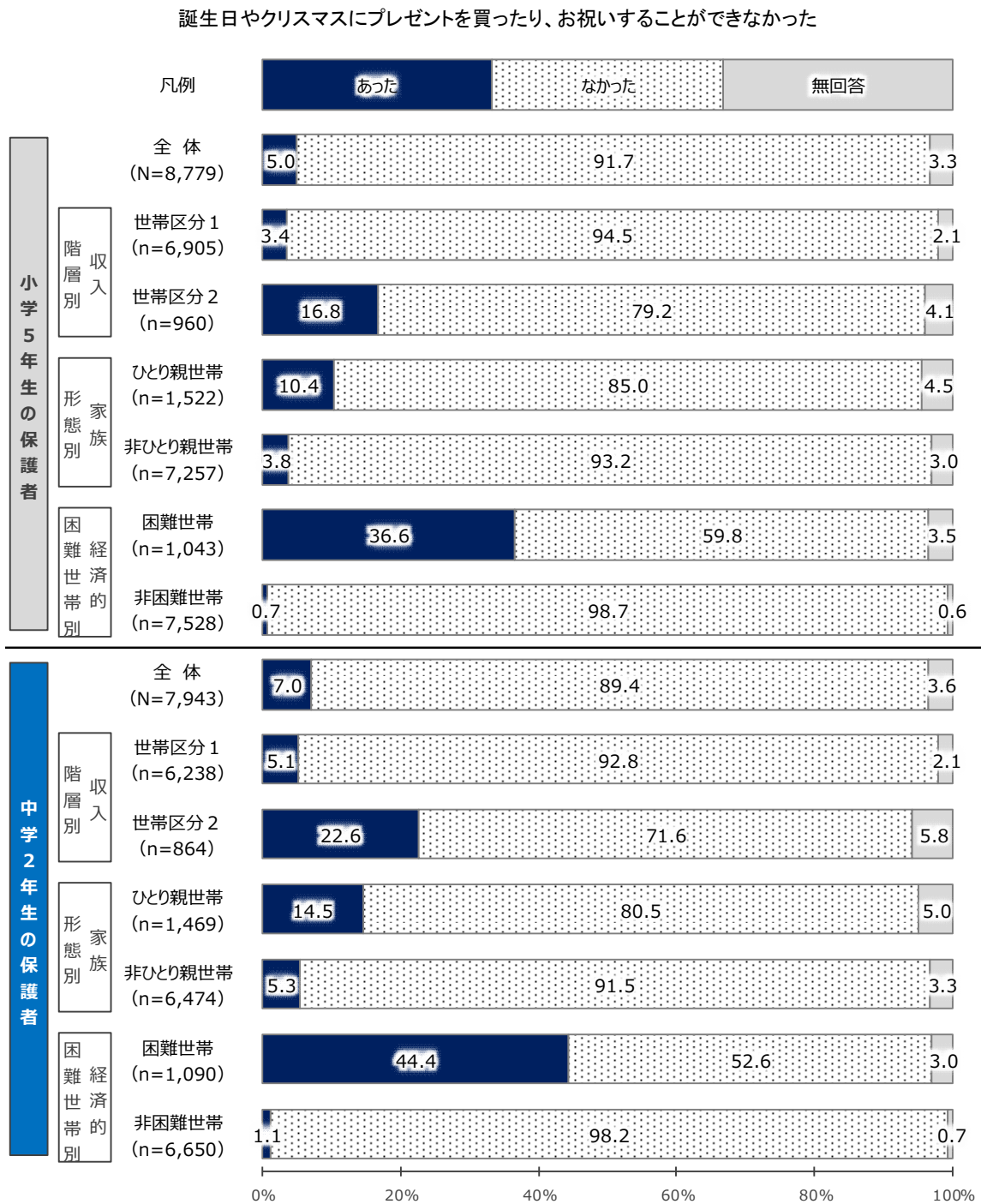
また、小学生保護者及び中学生保護者ともに、困難世帯は「あった」が6割以上、世帯区分2は「あった」が3割みられる。



⑫誕生日やクリスマスにプレゼントを買ったり、お祝いすることができなかった

過去1年間に誕生日やクリスマスにプレゼントを買ったり、お祝いすることができなかった経験は、小学生保護者及び中学生保護者ともに「なかった」が約9割を占め、「あった」は数パーセントとなっている。

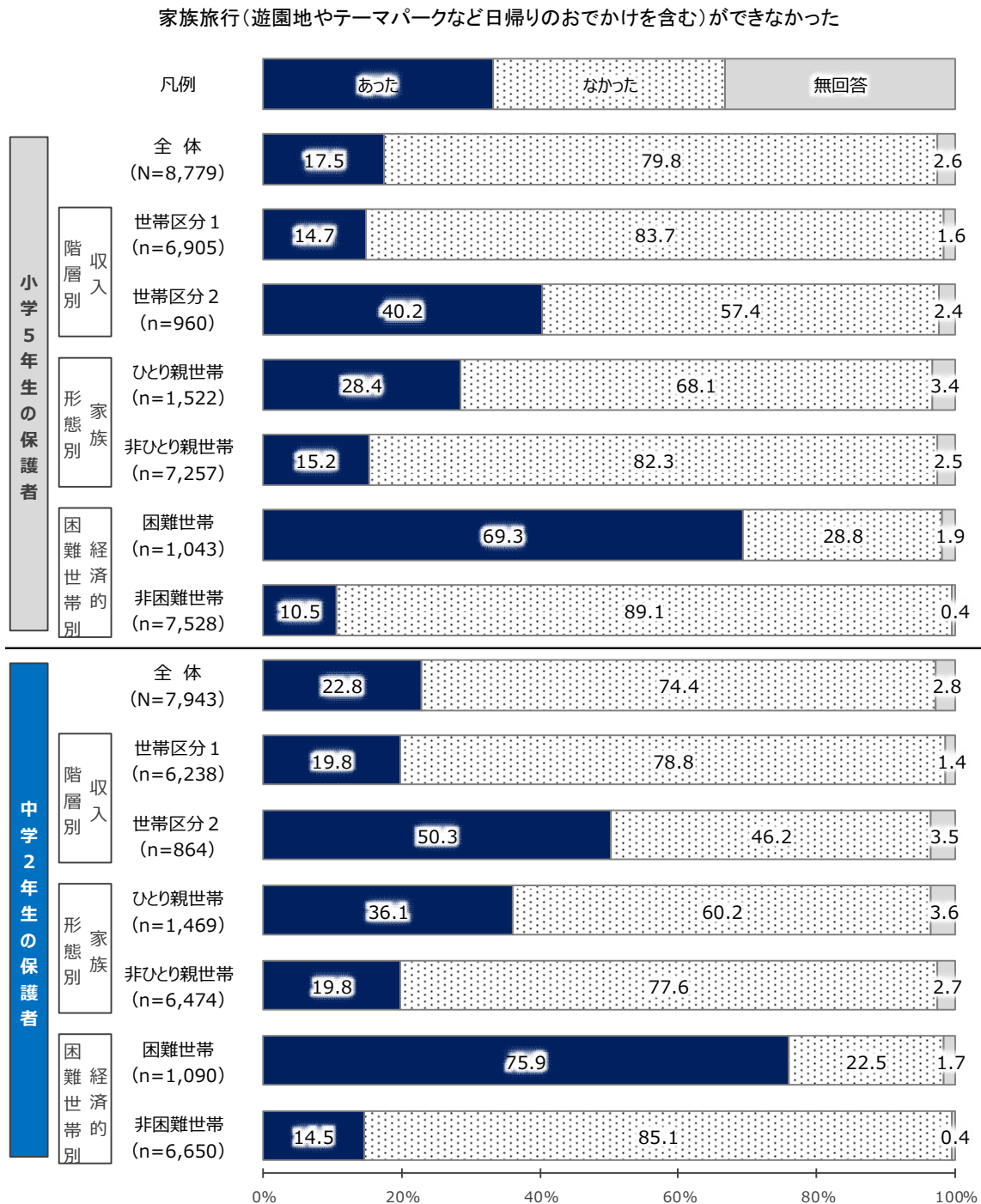
また、小学生保護者及び中学生保護者ともに、困難世帯は「あった」が3～4割、世帯区分2は「あった」が1～2割みられる。



⑬家族旅行（遊園地やテーマパークなど日帰りのおでかけを含む）ができなかった

過去1年間に家族旅行ができなかった経験は、小学生保護者及び中学生保護者ともに「なかった」が約8割を占め、「あった」は1～2割となっている。

また、小学生保護者及び中学生保護者ともに、困難世帯は「あった」が7割、世帯区分2は「あった」が4～5割みられる。



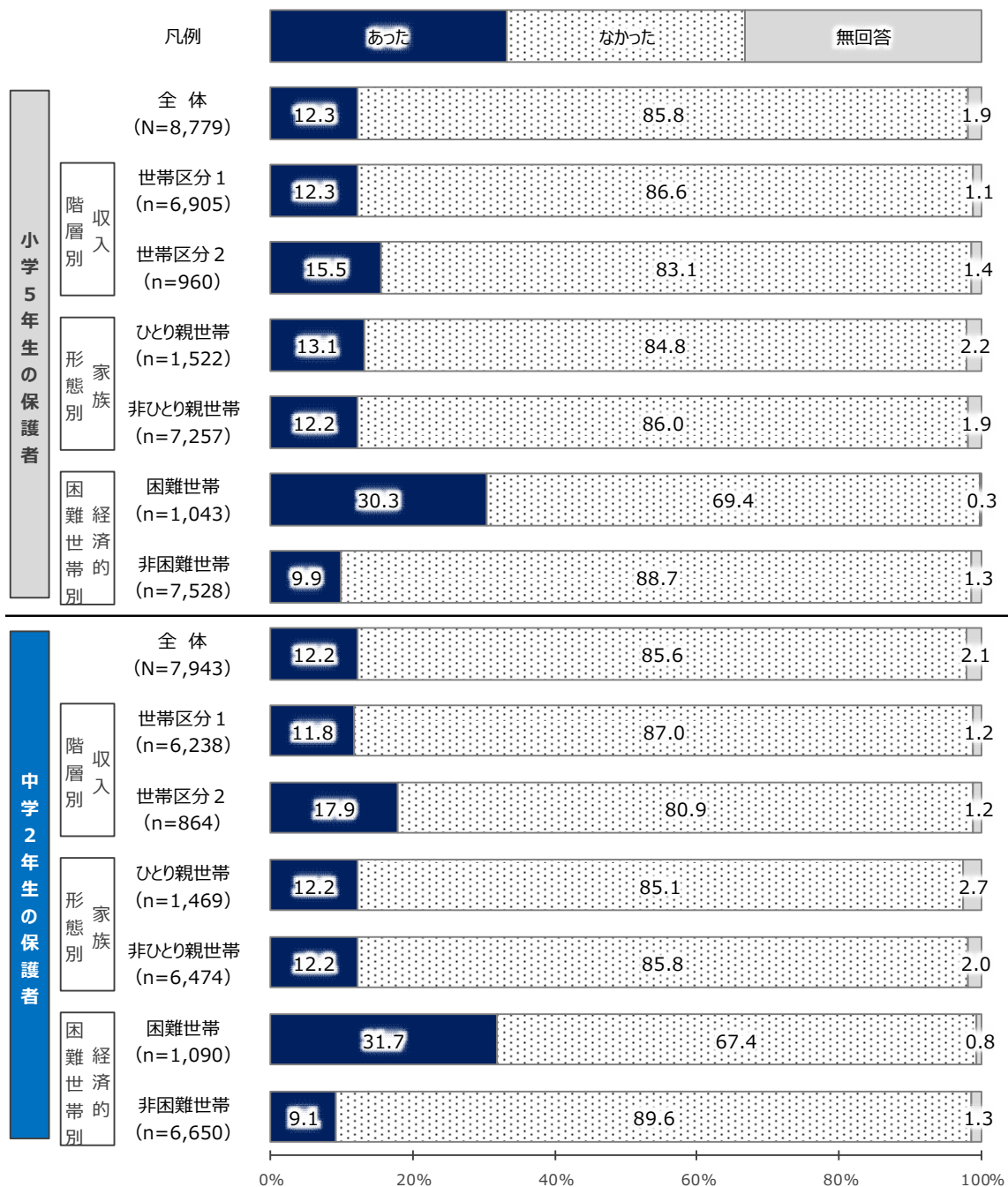


問 17 過去1年の間に、お子さんを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことがありましたか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

過去1年間に子どもを医療機関に受診させなかった経験は、小学生保護者及び中学生保護者ともに「なかった」が8割強を占め、「あった」は1割となっている。

また、小学生保護者及び中学生保護者ともに、困難世帯は「あった」が3割みられる。

医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったこと

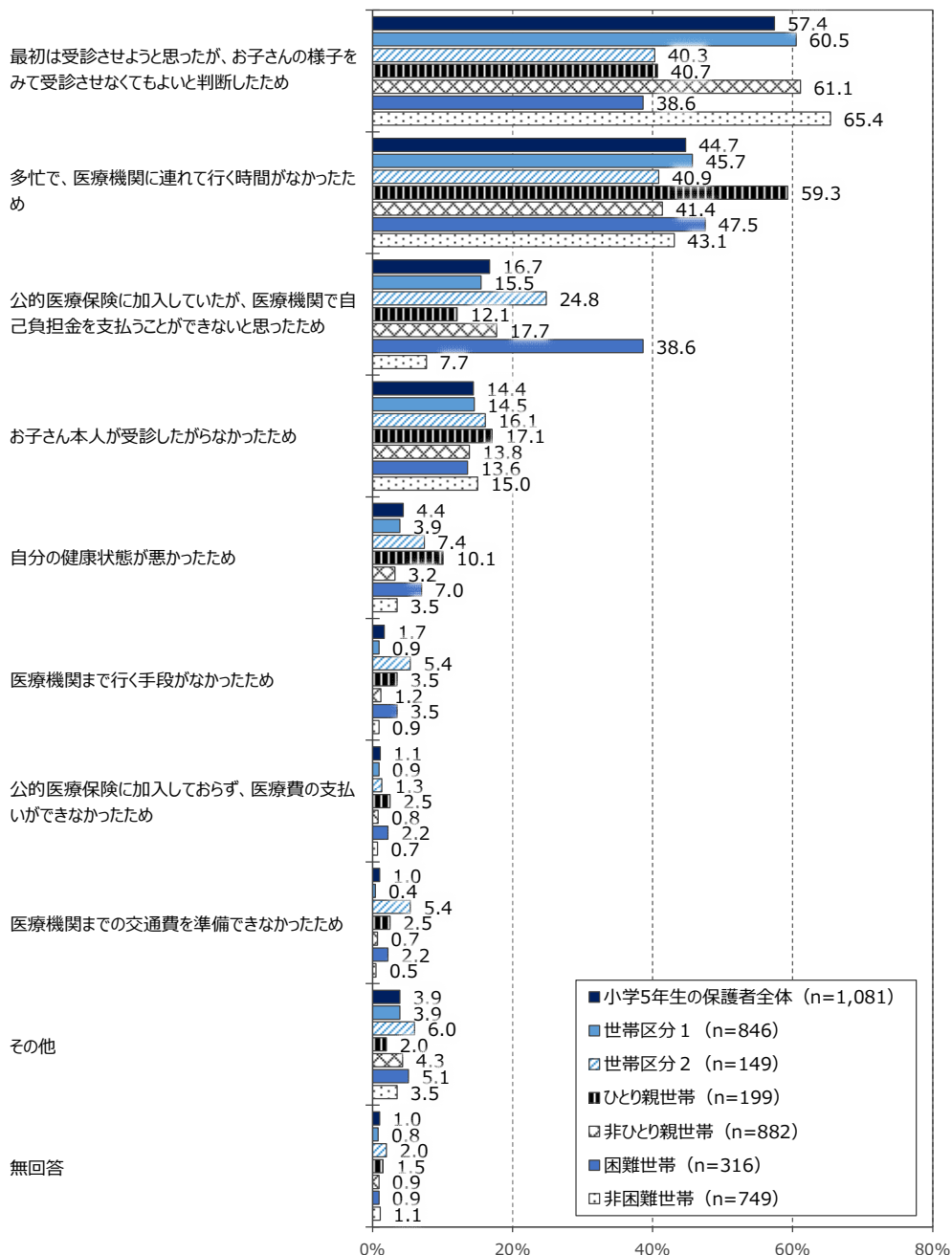


問 17-1 【問 17 で「1. あった」と答えた方におうかがいします。】その理由は何ですか。次の中からもっとも近いものに○をつけてください。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

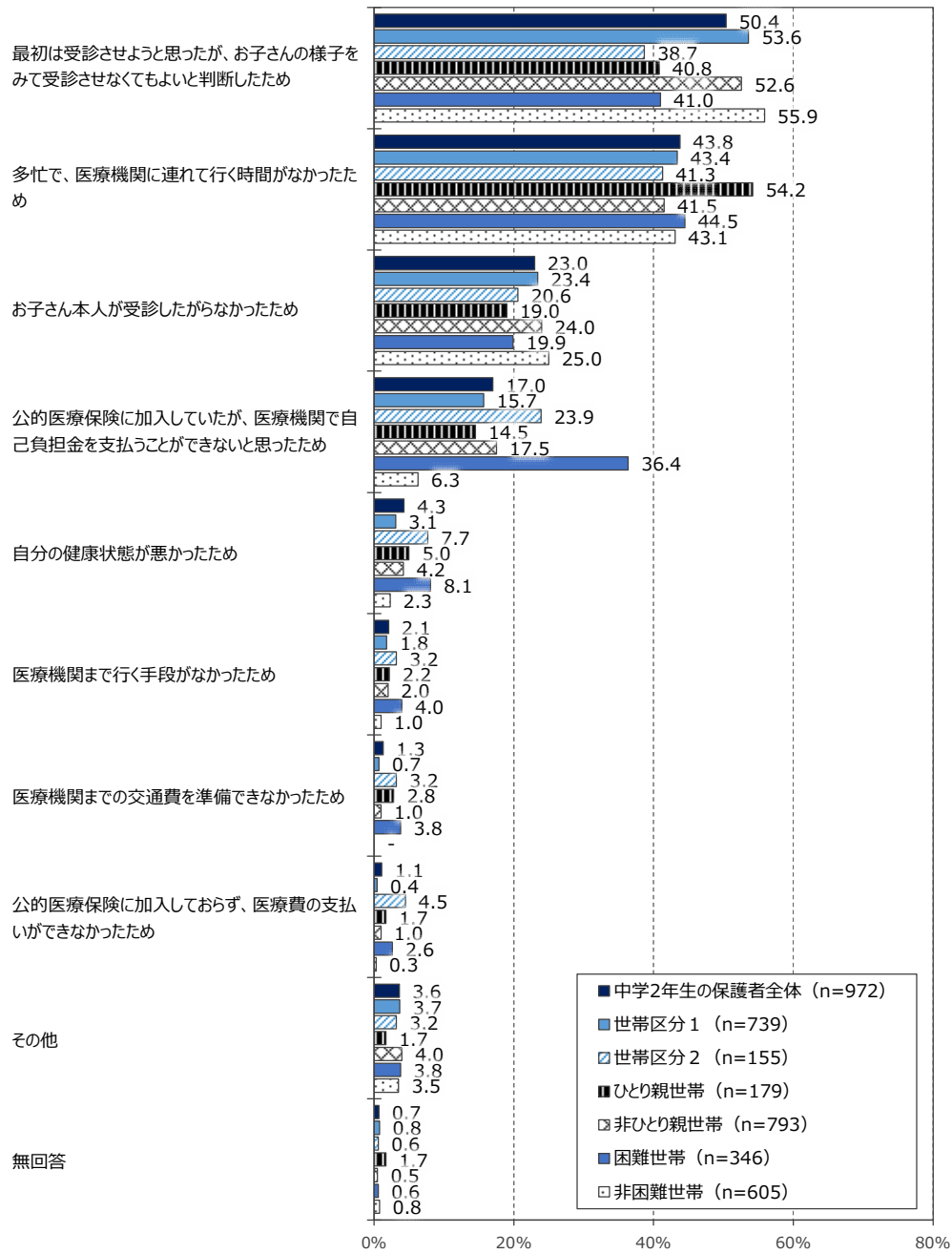
子どもを医療機関に受診させなかったことが「あった」と答えた人の理由については、小学生保護者及び中学生保護者ともに「最初は受診させようと思ったが、お子さんの様子を見て受診させなくてもよいと判断したため」が5割を占め最も高く、次いで「多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため」となっている。

また、小学生保護者及び中学生保護者ともに、ひとり親世帯において「多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため」、困難世帯において「公的医療保険に加入していたが、医療機関で自己負担金を支払うことができないと思ったため」の割合が高くなっている。

医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかった理由(小学5年生の保護者)



医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかった理由(中学2年生の保護者)



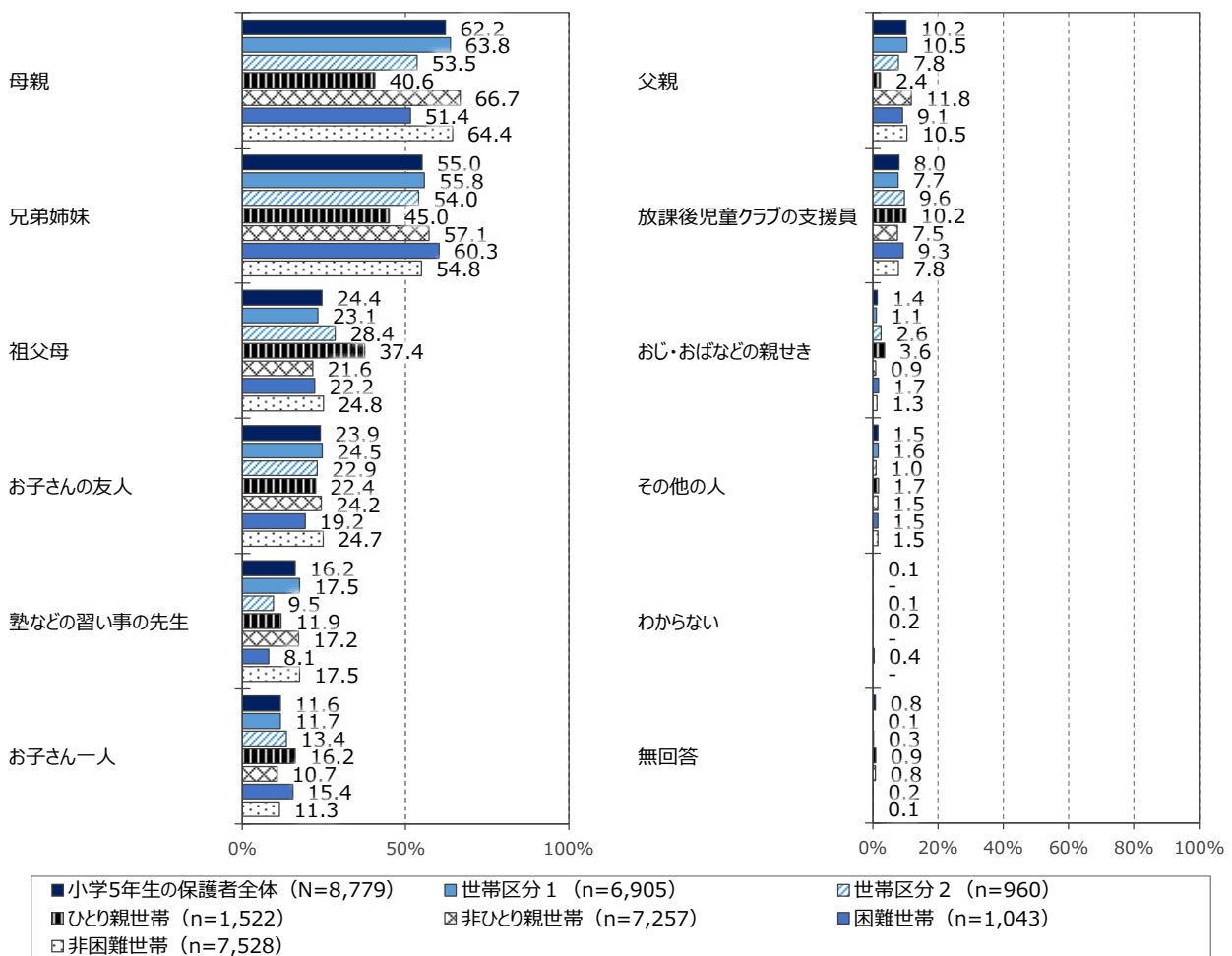
### 3. お子さんの生活状況について

問 18 あなたのお子さんは、学校が終わってから夕食までの間、主に誰と過ごすことが多いですか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

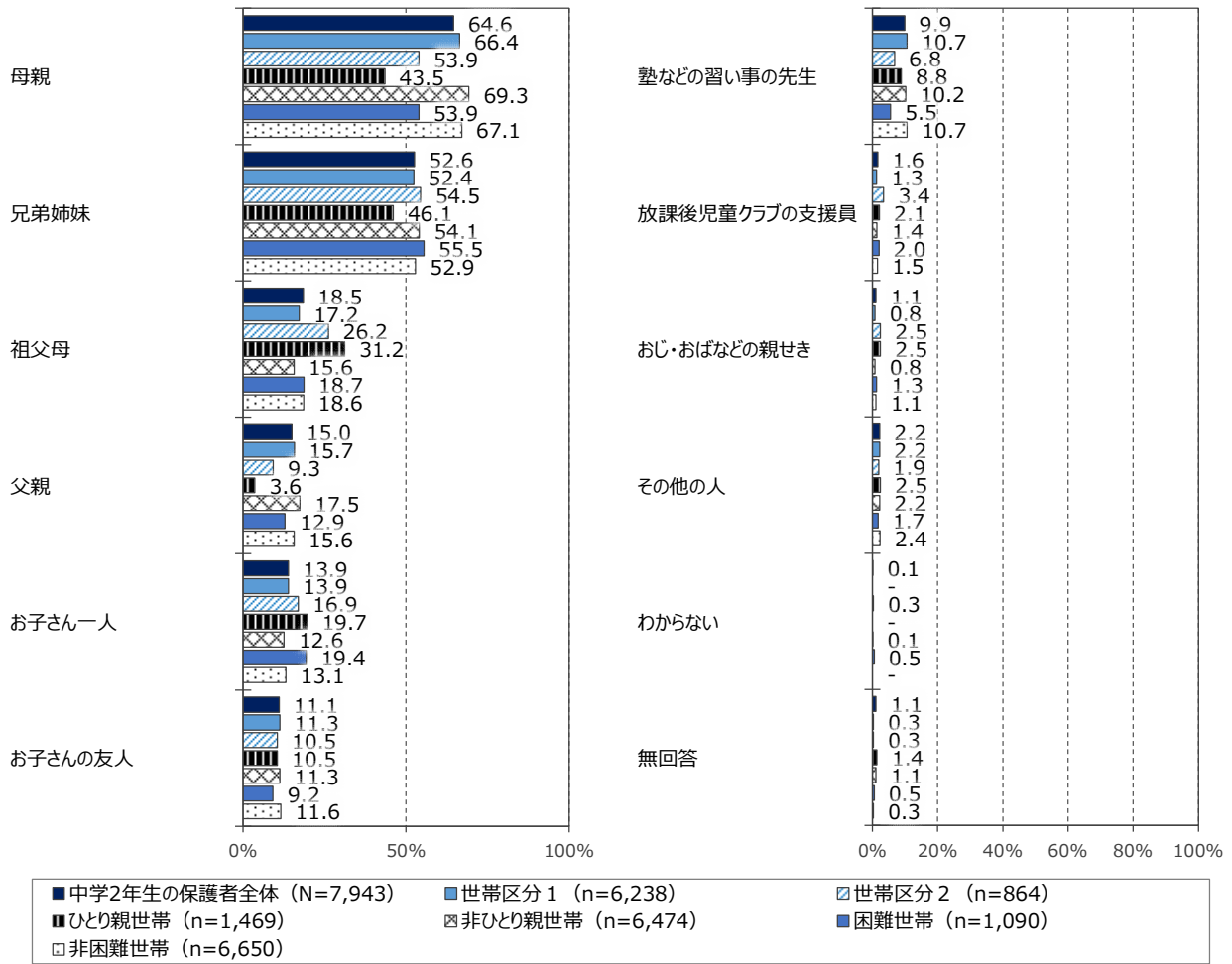
子どもは学校が終わって過ごす相手については、小学生保護者及び中学生保護者ともに「母親」が6割以上を占め最も高く、次いで「兄弟姉妹」が5割、「祖父母」となっている。なお、子ども調査結果と比較すると、中学生では「部活動・クラブ活動の友達」が第1位となっている。

また、小学生保護者及び中学生保護者に共通して、ひとり親世帯では「祖父母」、「お子さん一人」の割合が高くなっている。

学校が終わってから夕食までの間、一緒に過ごす相手(小学5年生の保護者)



学校が終わってから夕食までの間、一緒に過ごす相手(中学2年生の保護者)





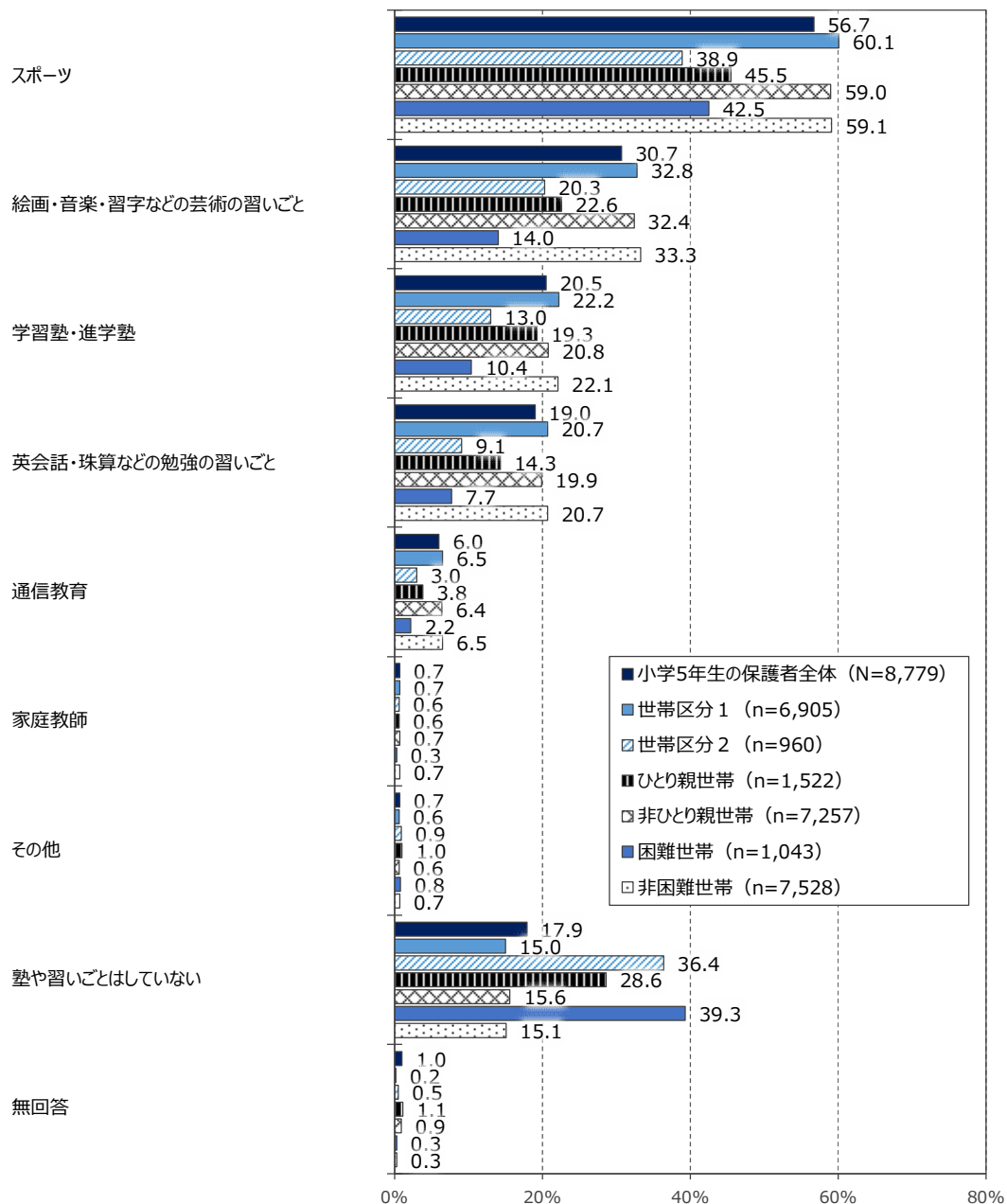
問 19 お子さんは、塾や習いごとをしていますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

子どもの塾や習いごとについては、小学生保護者は「スポーツ」(56.7%)が最も高く、次いで「絵画・音楽・習字などの芸術の習いごと」(30.7%)、「学習塾・進学塾」(20.5%)となっている。なお、「塾や習いごとはしていない」(17.9%)は1割強となっている。

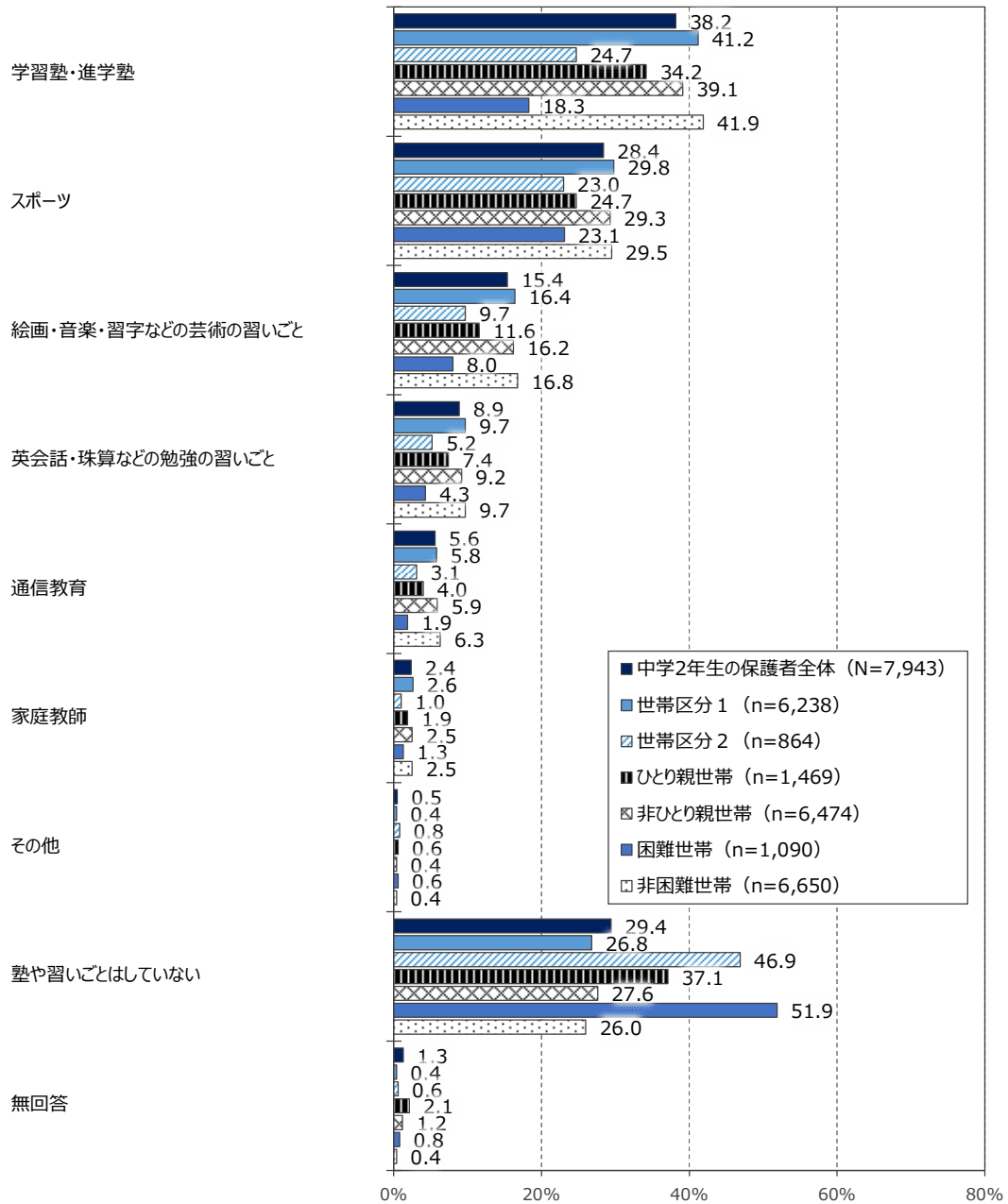
一方、中学生保護者は「学習塾・進学塾」(38.2%)が最も高く、次いで「スポーツ」(28.4%)、「絵画・音楽・習字などの芸術の習いごと」(15.4%)となっている。なお、「塾や習いごとはしていない」(29.4%)は3割となっている。

また、小学生保護者及び中学生保護者ともに、世帯区分2は世帯区分1より、困難世帯は非困難世帯より「塾や習いごとはしていない」の割合が高くなっている。

塾や習い事の有無(小学5年生の保護者)



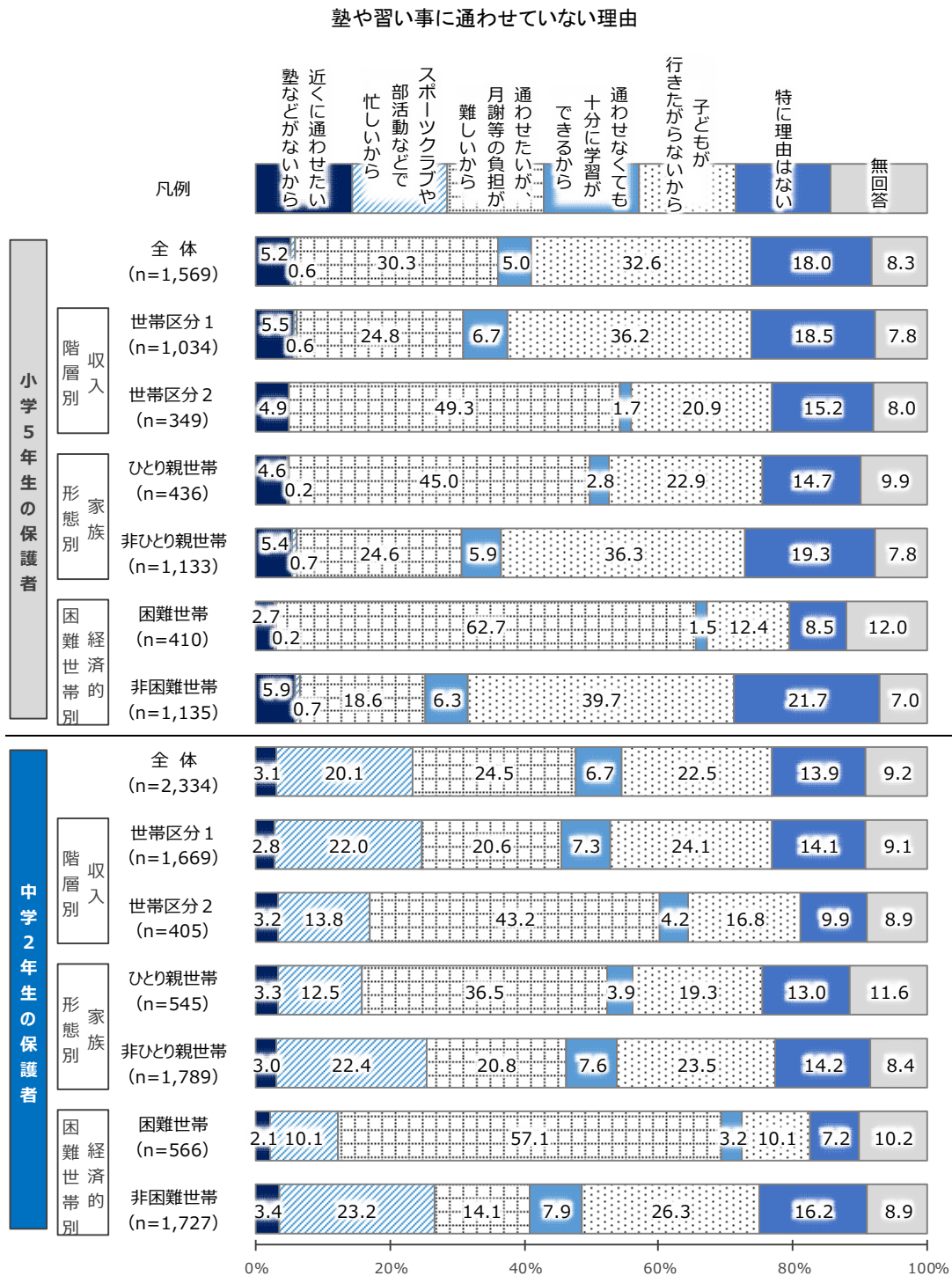
塾や習い事の有無(中学2年生の保護者)



問 19-1 【問 19 で「8. 塾や習いごとはしていない」と答えた方におうかがいします。】  
 通わせていない理由について、教えてください。(あてはまる番号 1 つに○をつけて  
 ください)

子どもの「塾や習いごととしていない」と答えた人の理由については、小学生保護者及び中学生保護者ともに「子どもが行きたがらないから」、「通わせたいが、月謝等の負担が難しいから」が中心だが、中学生保護者は「スポーツクラブや部活動などで忙しいから」の割合も高くなっている。

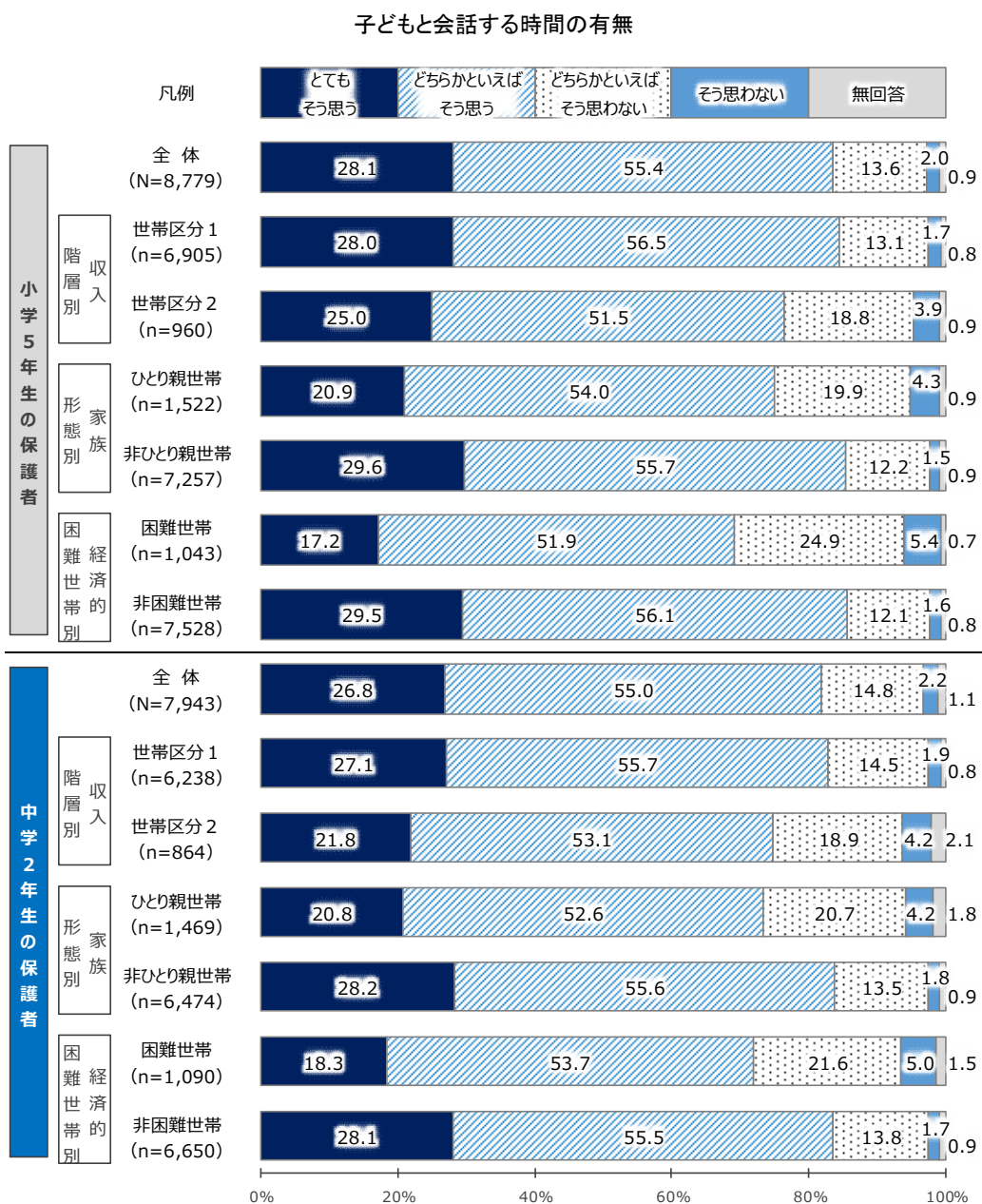
また、小学生保護者及び中学生保護者ともに、困難世帯において「通わせたいが、月謝等の負担が難しいから」の割合がかなり高くなっている。



問 20 あなたは、お子さんと十分会話する時間が取れていると思いますか。(あてはまる番号1つに○をつけください)

子どもと十分話す時間がとれているかについては、小学生保護者は「とてもそう思う」が28.1%、「どちらかといえばそう思う」が55.4%と、これらを合わせた『そう思う』(83.5%)は8割以上を占めており、『そう思わない』(「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」の合計)の15.6%を大きく上回っている。一方、中学生も「とてもそう思う」が26.8%、「どちらかといえばそう思う」が55.0%と、これらを合わせた『そう思う』(81.8%)は8割以上を占めており、『そう思わない』(「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」の合計)の17.0%を大きく上回っている。

また、小学生保護者及び中学生保護者ともに、世帯区分2は世帯区分1より、ひとり親世帯は非ひとり親世帯より、困難世帯は非困難世帯より『そう思わない』の割合が高くなっている。

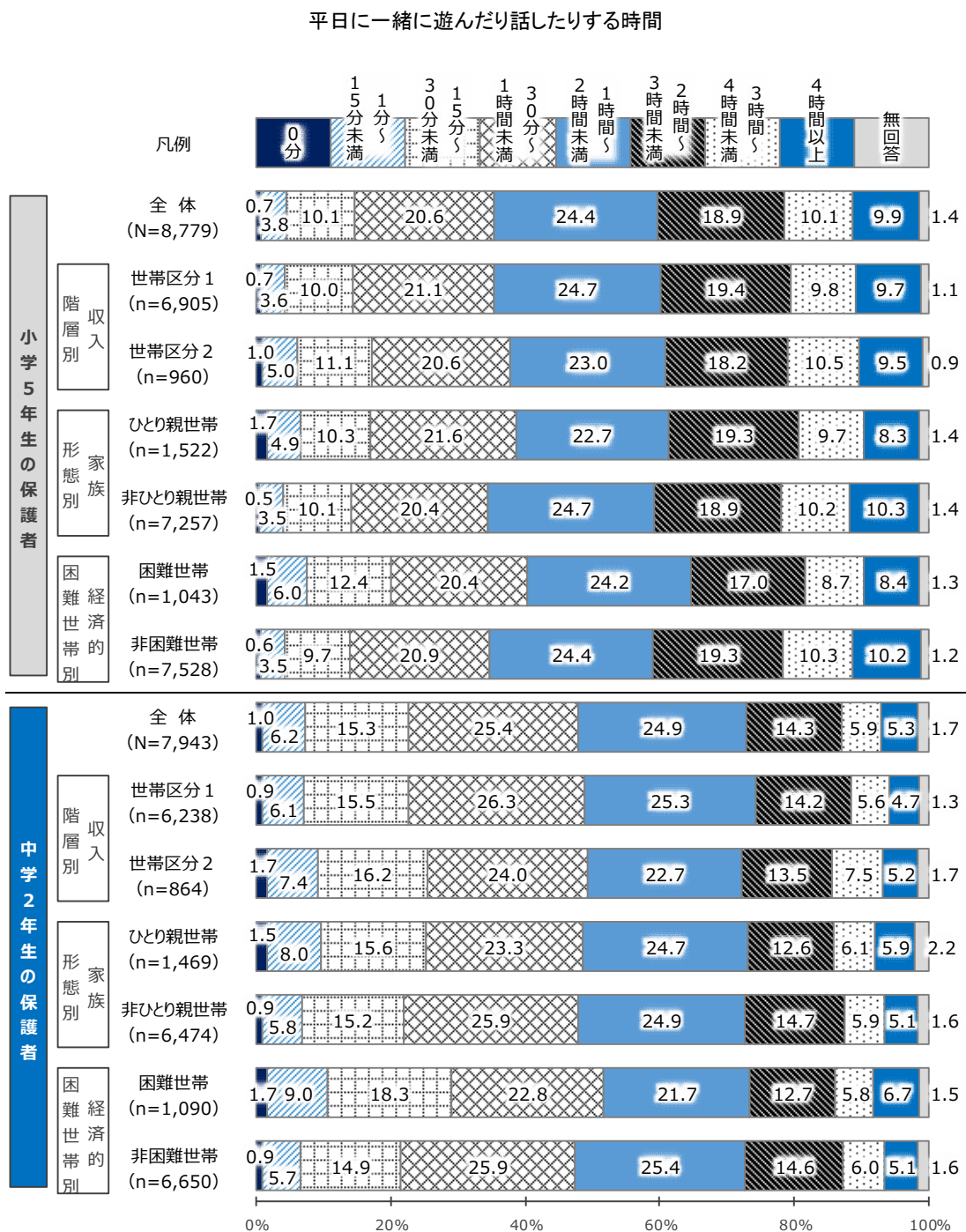




問 21 あなたがお子さんと一緒に遊んだり話したりする時間は、1日あたりだいたいどれくらいになりますか。(平日、休日それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください)

①平日

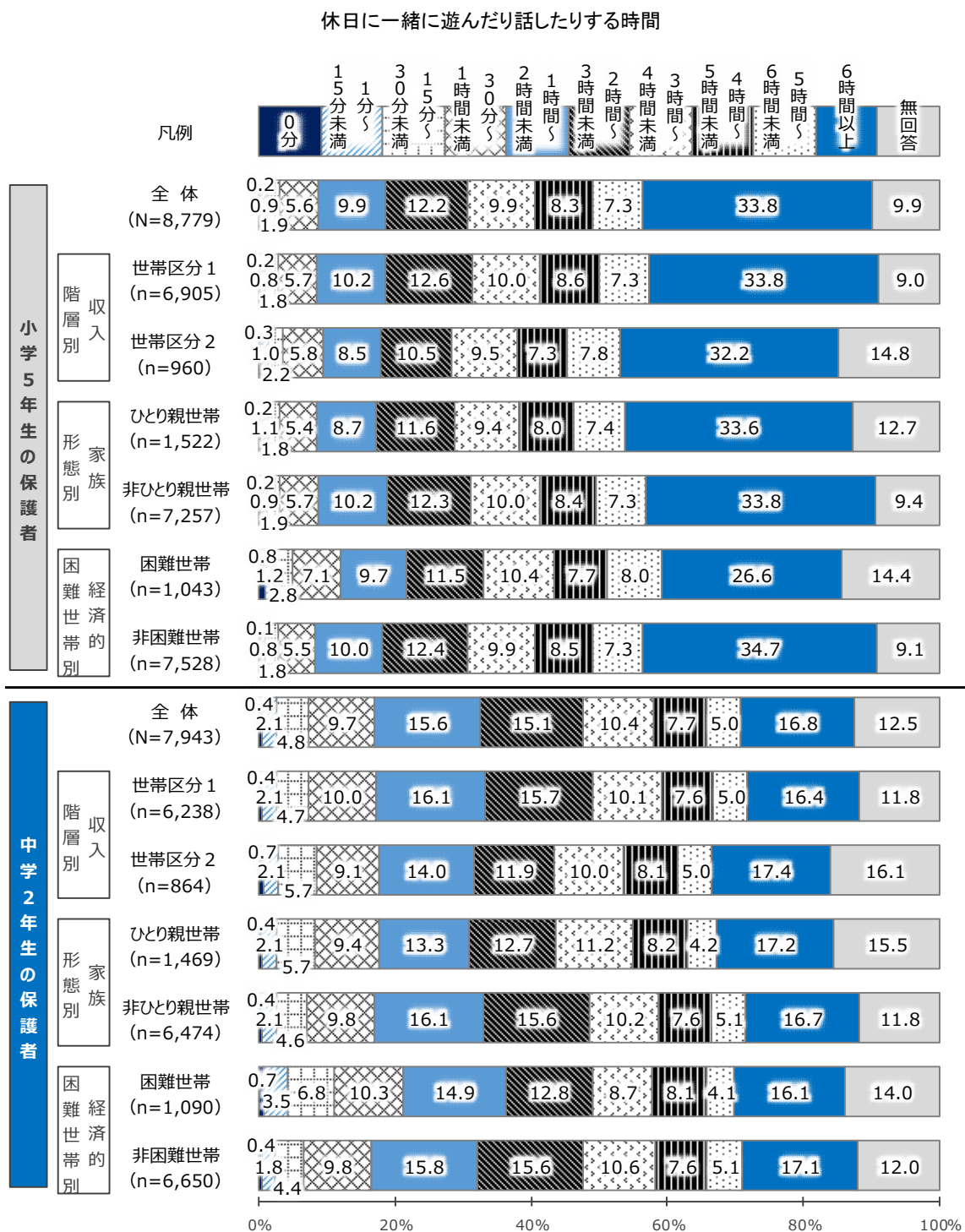
子どもと平日と一緒に遊んだり話したりする時間については、小学生保護者は「1時間～2時間未満」(24.4%)が最も高く、次いで「30分～1時間未満」(20.6%)であり、『2時間以上』(38.9%)では約4割を占める。一方、中学生保護者は「30分～1時間未満」(25.4%)が最も高く、次いで「1時間～2時間未満」(24.9%)であり、『2時間以上』(25.5%)では小学生保護者の割合を大きく下回っている。





②休日

子どもと休日に一緒に遊んだり話したりする時間については、小学生保護者は「6時間以上」(33.8%)が最も高く、『2時間以上』(71.5%)でも7割を占める。一方、中学生保護者は「6時間以上」(16.8%)が最も高く、次いで「1時間～2時間未満」(15.6%)、「2時間～3時間未満」(15.1%)であり、『2時間以上』(55.0%)では小学生保護者の割合を大きく下回っている。



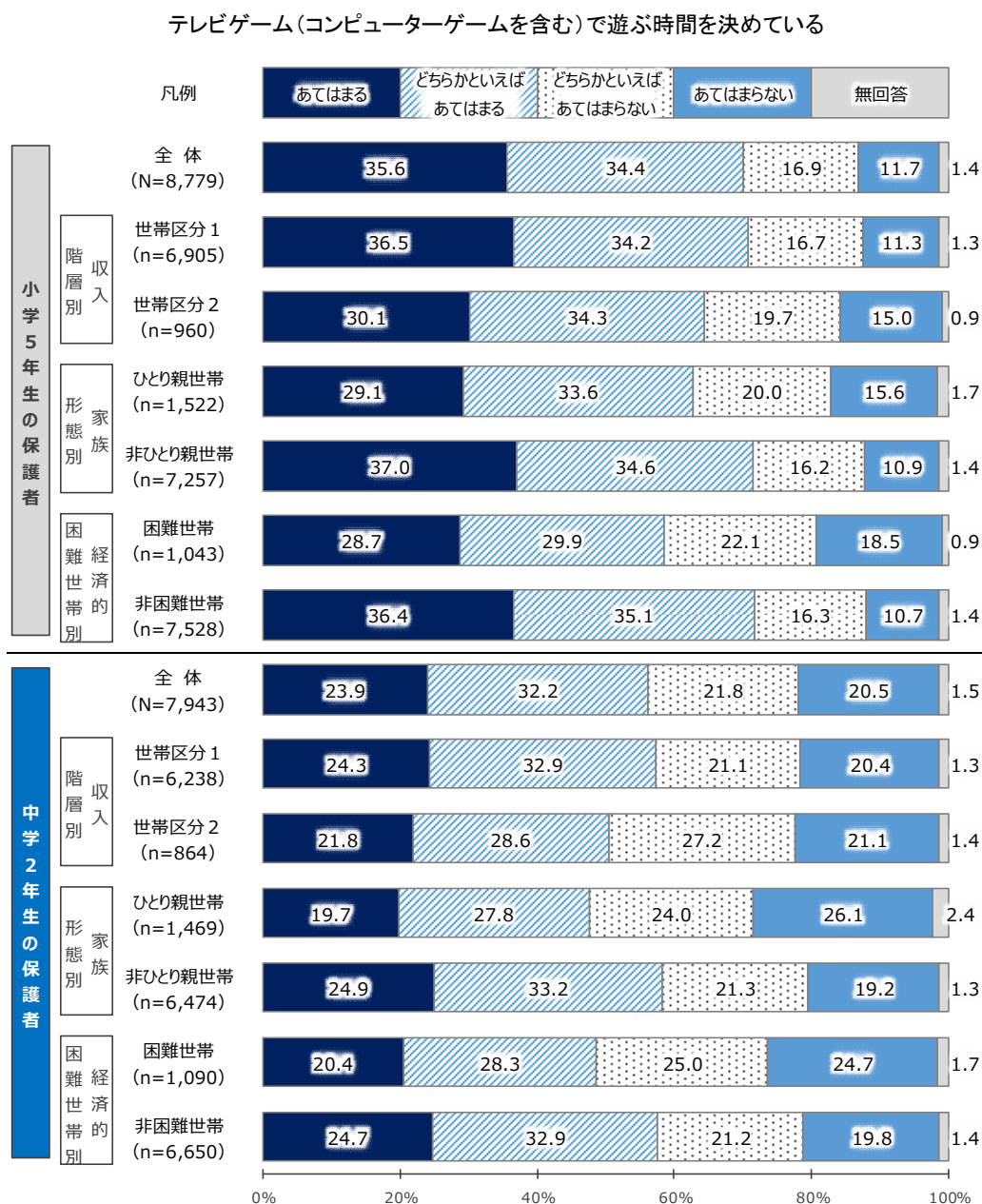
問 22 あなたのご家庭では、お子さんに対して次のことをしていますか。(①～⑧のそれぞれの項目について、あてはまる番号1つに○をつけてください)

①テレビゲーム（コンピューターゲームを含む）で遊ぶ時間を決めている

テレビゲームの遊ぶ時間を決めているについては、小学生保護者は『あてはまる』（「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の合計）が70.0%であり、『あてはまらない』（「どちらかといえばあてはまらない」、「あてはまらない」の合計）の28.6%を大きく上回っている。一方、中学生保護者は『あてはまる』（「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の合計）が56.1%、『あてはまらない』（「どちらかといえばあてはまらない」、「あてはまらない」の合計）が42.3%となっている。

子ども調査の結果と比較すると、ほぼ同様の回答傾向を示している。

また、小学生保護者及び中学生保護者ともに、ひとり親世帯は非ひとり親世帯より、困難世帯は非困難世帯より『あてはまらない』の割合が高くなっている。

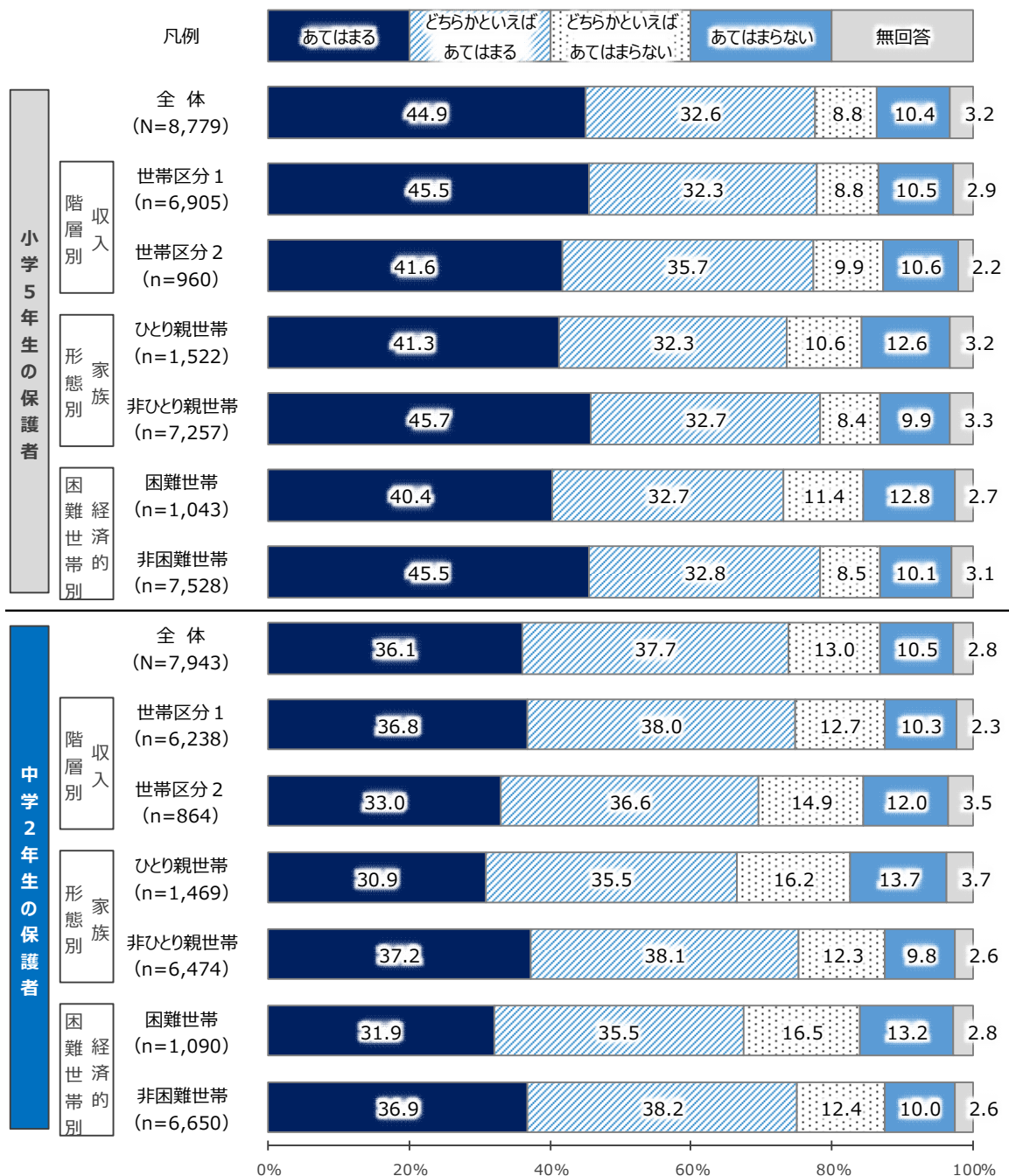


②携帯電話やスマートフォンの使い方について、ルールや約束をしている

携帯電話やスマートフォンの使い方については、小学生保護者は『あてはまる』（「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の合計）が 77.5%であり、『あてはまらない』（「どちらかといえばあてはまらない」、「あてはまらない」の合計）の 19.2%を大きく上回っている。一方、中学生保護者も『あてはまる』（「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の合計）が 73.8%であり、『あてはまらない』（「どちらかといえばあてはまらない」、「あてはまらない」の合計）の 23.5%を大きく上回っている。

子ども調査結果と比較すると、小学生保護者及び中学生保護者ともに『あてはまる』の割合がやや高い。

携帯電話やスマートフォンの使い方について、ルールや約束をしている

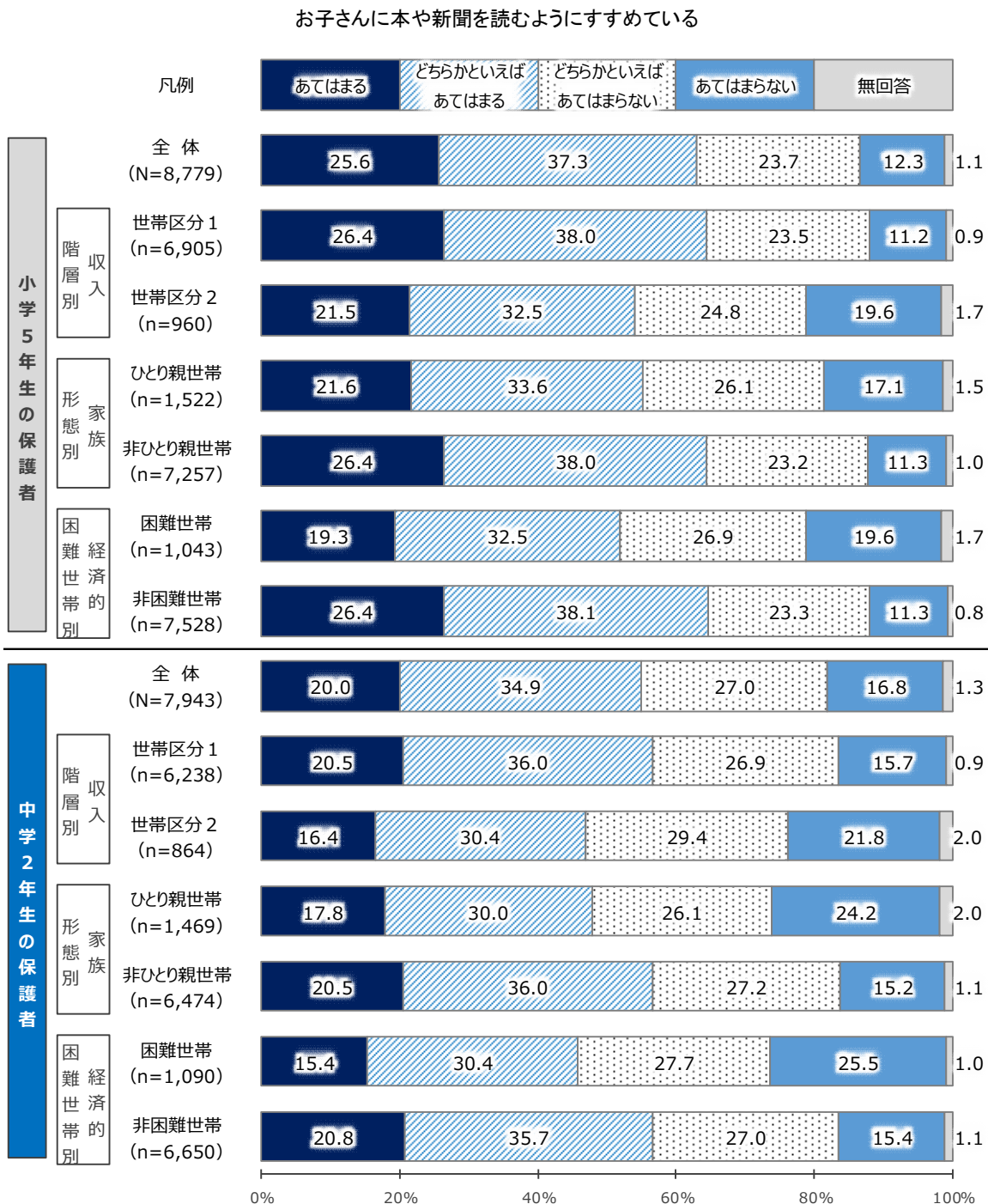




③お子さんに本や新聞を読むようにすすめている

お子さんに本や新聞を読むようにすすめているについては、小学生保護者は『あてはまる』（「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の合計）が62.9%であり、『あてはまらない』（「どちらかといえばあてはまらない」、「あてはまらない」の合計）の36.0%を大きく上回っている。一方、中学生保護者は『あてはまる』（「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の合計）が54.9%、『あてはまらない』（「どちらかといえばあてはまらない」、「あてはまらない」の合計）が43.8%となっている。

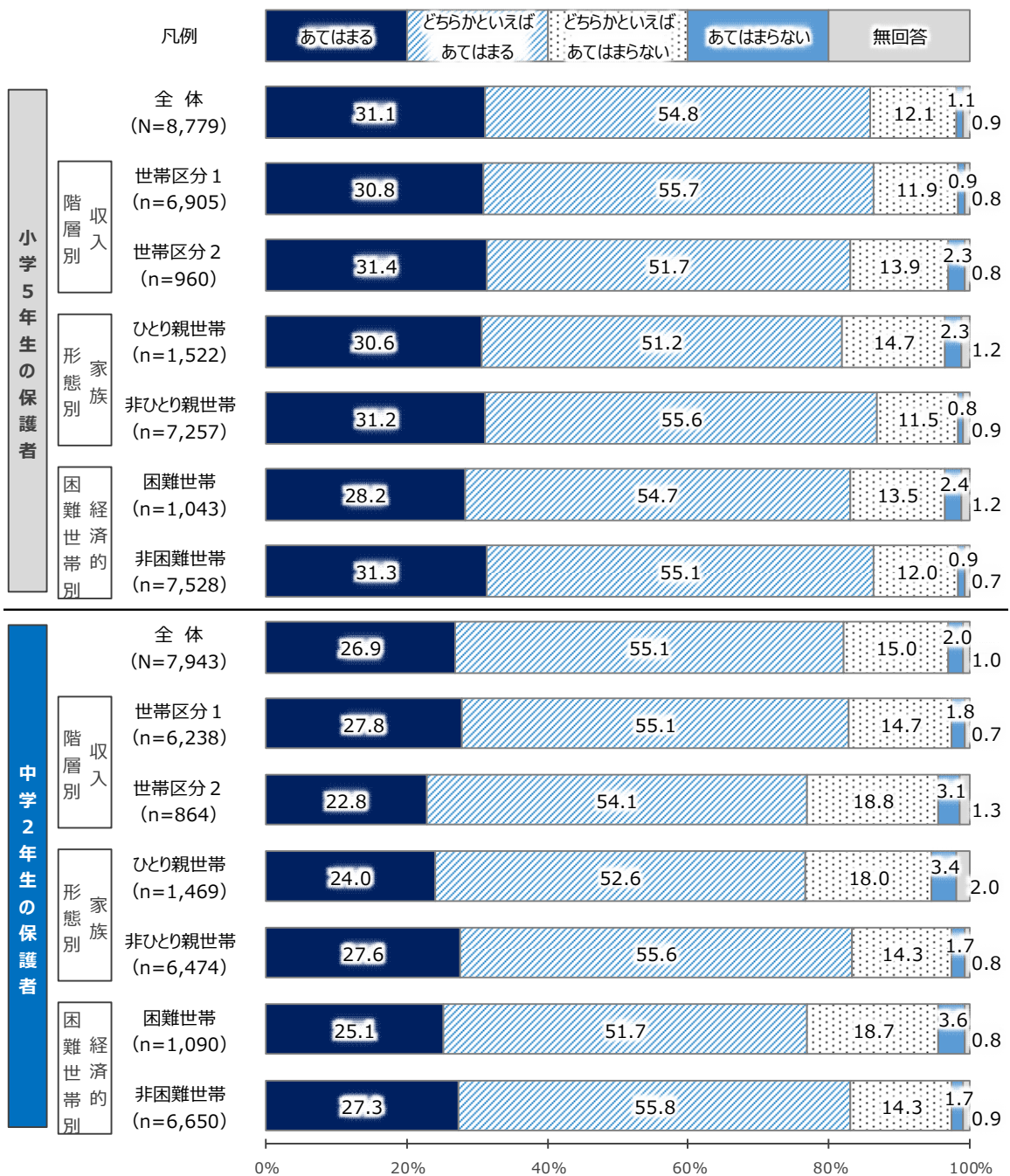
また、小学生保護者及び中学生保護者ともに、世帯区分2は世帯区分1より、ひとり親世帯は非ひとり親世帯より、困難世帯は非困難世帯より『あてはまらない』の割合が高くなっている。



④お子さんのよいところをほめるなどして自信を持たせるようにしている

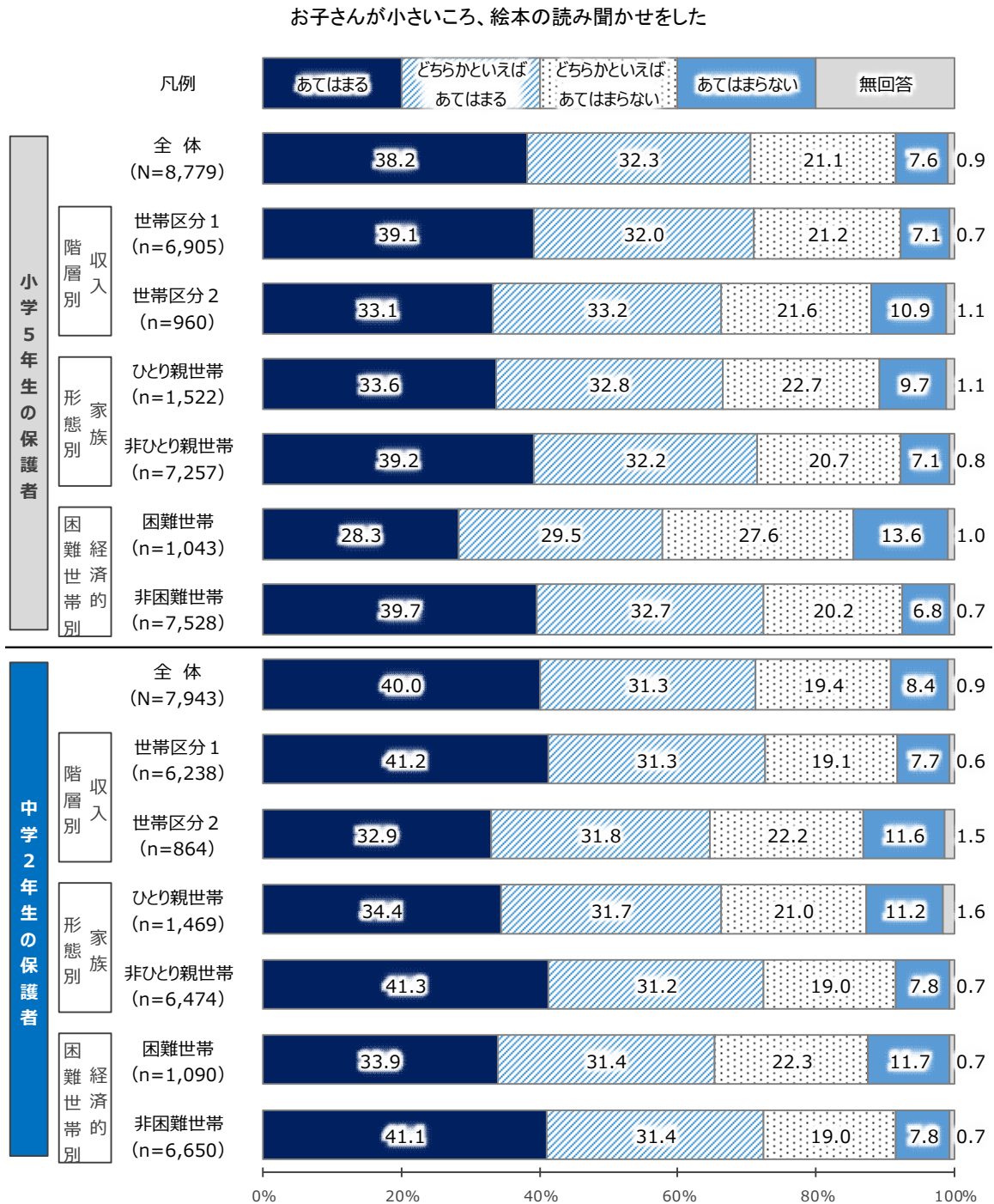
お子さんのよいところをほめるなどして自信を持たせるようにしているについては、小学生保護者は『あてはまる』（「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の合計）が85.9%であり、『あてはまらない』（「どちらかといえばあてはまらない」、「あてはまらない」の合計）の13.2%を大きく上回っている。一方、中学生保護者も『あてはまる』（「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の合計）が82.0%であり、『あてはまらない』（「どちらかといえばあてはまらない」、「あてはまらない」の合計）の17.0%を大きく上回っている。

お子さんのよいところをほめるなどして自信を持たせるようにしている



⑤お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをした

お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしたについては、小学生保護者は『あてはまる』（「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の合計）が70.5%であり、『あてはまらない』（「どちらかといえばあてはまらない」、「あてはまらない」の合計）の28.7%を大きく上回っている。一方、中学生保護者も『あてはまる』（「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の合計）が71.3%であり、『あてはまらない』（「どちらかといえばあてはまらない」、「あてはまらない」の合計）が27.8%を大きく上回っている。

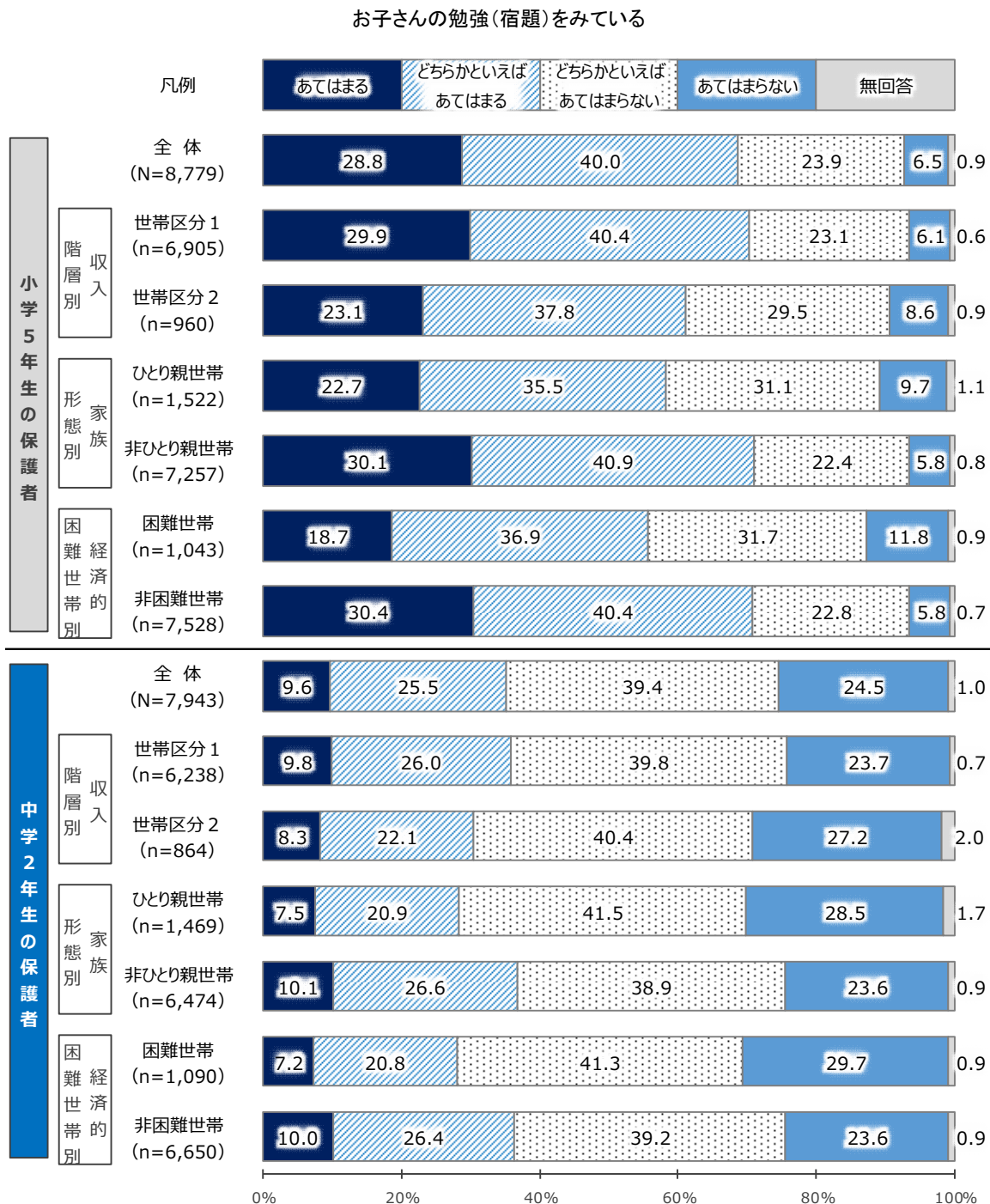




◎お子さんの勉強（宿題）をみている

お子さんの勉強（宿題）をみているについては、小学生保護者は『あてはまる』（「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の合計）が68.8%であり、『あてはまらない』（「どちらかといえばあてはまらない」、「あてはまらない」の合計）の30.4%を大きく上回っている。一方、中学生保護者は『あてはまる』（「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の合計）は35.1%にとどまり、『あてはまらない』（「どちらかといえばあてはまらない」、「あてはまらない」の合計）が63.9%となっている。

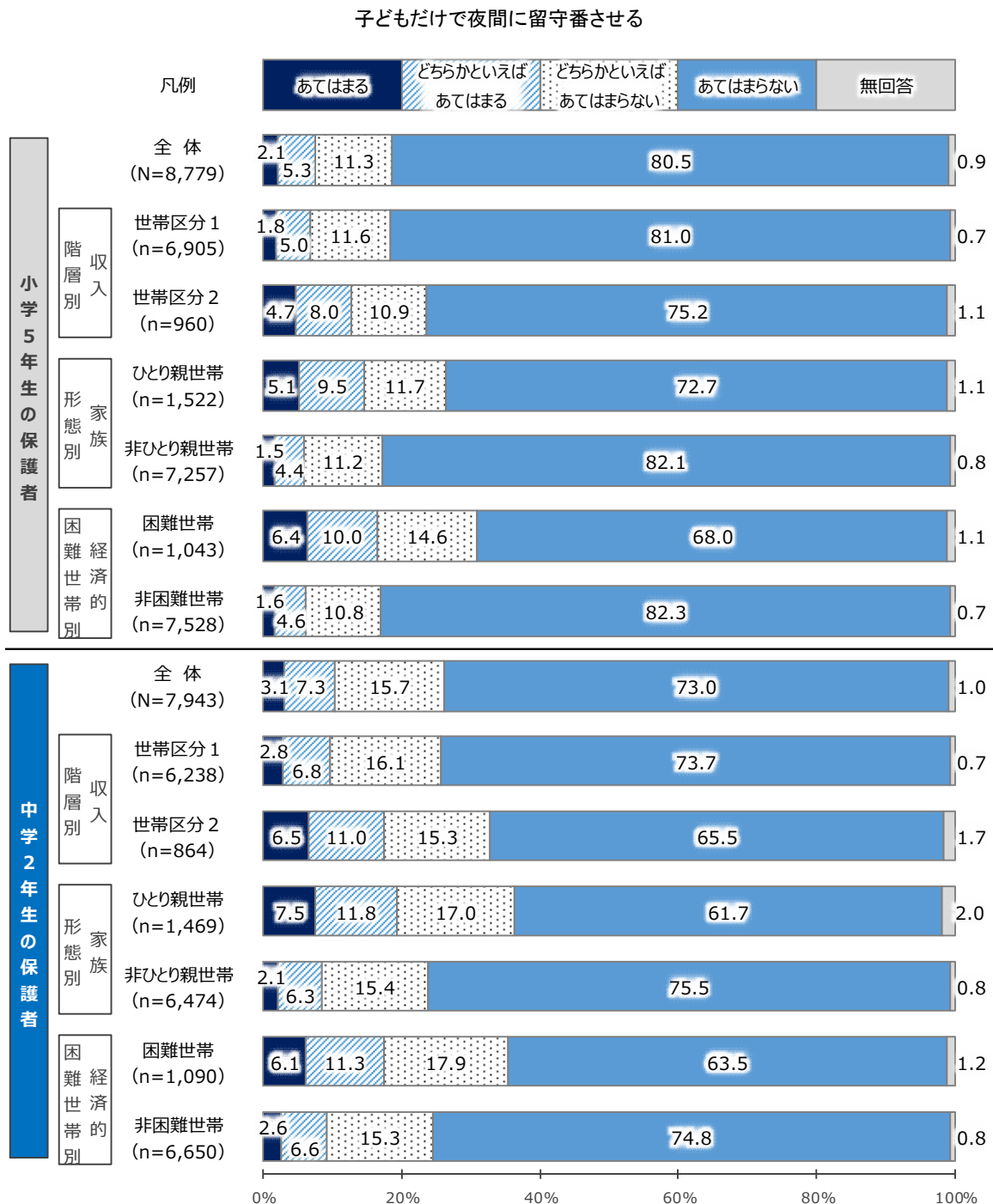
また、小学生保護者及び中学生保護者ともに、世帯区分2は世帯区分1より、ひとり親世帯は非ひとり親世帯より、困難世帯は非困難世帯より『あてはまらない』の割合が高くなっている。



⑦子どもだけで夜間に留守番させる

子どもだけで夜間に留守番させるについては、小学生保護者は『あてはまる』（「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の合計）は7.4%にとどまり、『あてはまらない』（「どちらかといえばあてはまらない」、「あてはまらない」の合計）が91.8%を占めている。一方、中学生保護者は『あてはまる』（「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の合計）は10.4%にとどまり、『あてはまらない』（「どちらかといえばあてはまらない」、「あてはまらない」の合計）が88.7%を占めている。

また、小学生保護者及び中学生保護者ともに、世帯区分2は世帯区分1より、ひとり親世帯は非ひとり親世帯より、困難世帯は非困難世帯より『あてはまる』の割合が高く1割以上となっている。



⑧子どもの前で保護者がけんかをしてしまう

子どもの前で保護者がけんかをしてしまうについては、小学生保護者は『あてはまる』（「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の合計）が27.2%にとどまり、『あてはまらない』（「どちらかといえばあてはまらない」、「あてはまらない」の合計）は71.7%を占めている。一方、中学生保護者も『あてはまる』（「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の合計）は27.2%にとどまり、『あてはまらない』（「どちらかといえばあてはまらない」、「あてはまらない」の合計）が71.6%を占めている。

また、小学生保護者及び中学生保護者ともに、世帯区分2は世帯区分1より、ひとり親世帯は非ひとり親世帯より『あてはまらない』の割合が高くなっている。

